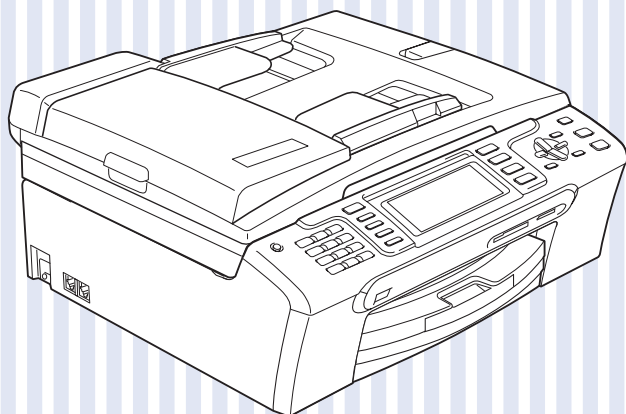
brother

MFC-480CN かんたん設置ガイド

はじめにお読みください

設置が終わったら
ユーザーズガイドをご覧ください。

Step 1
付属品を取り付ける

Step 2
設置・接続する

Step 3
パソコン (Windows®) に接続する

Macintosh® に接続する

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 別冊のユーザーズガイド7章「こんなときは」で調べる

2 サポート ブラザー 検索
ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

3 お客様相談窓口で相談
[ブラザーコールセンター]
0120-590-381
受付/9:00～20:00(土曜・祝日～17:00)
※日曜・当社指定休日は除きます。
ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

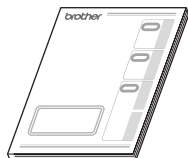
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

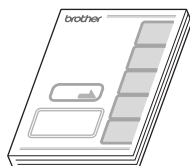
Version A

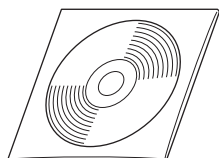
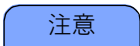
ユーザーズガイドの構成

本製品には、以下のユーザーズガイドが同梱されています。

かんたん設置ガイド（本書）

必ず本書からお読みください。
本製品をお使いいただくための準備について記載しています。

ユーザーズガイド

ファクス、コピー、フォトメディアキャプチャ（デジカメプリント）、本製品のお手入れ、困ったとき、などについて記載しています。

画面で見るマニュアル（CD-ROM）

付属の CD-ROM には、「画面で見るマニュアル」（HTML 形式）が収録されています。ファクス、コピー、デジカメプリントなどの機能に加え、プリンタ、スキャナなど、パソコンと接続して使う機能についても記載しています。

Windows® をお使いの場合、パソコンにドライバをインストールすると、Windows® のスタートメニューから「画面で見るマニュアル」を閲覧できます。
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-480CN］－［画面で見るマニュアル（HTML 形式）］を選んでください。

最新の画面で見るマニュアルは、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター)(http://solutions.brother.co.jp/) からダウンロードできます。

本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
（ヒントマーク）	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
（矢印マーク）	本書内での参照先を記載しています。
（CD-ROMとパソコンのマーク）	「画面で見るマニュアル」への参照先を記載しています。

注意

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

お願い

本製品の本体ソフトウェア（ファームウェア）やプリンタドライバの最新バージョンを下記のホームページから定期的にご確認ください。常に最新のバージョンに更新してお使いいただくことをおすすめします。
http://solutions.brother.co.jp/

操作パネルの名称

(1) 電源ボタン	(9) メニューボタン
(2) ダイヤルボタン	(10) 停止／終了ボタン
(3) インクボタン	(11) モノクロ／カラースタートボタン
(4) AOSS ボタン	(12) OK ボタン
(5) みるだけ受信 / みてから送信ボタン	(13) クリア／バックボタン
(6) 液晶ディスプレイ	(14) 再ダイヤル／ポーズボタン
(7) モードボタン	(15) オンフックボタン
(8) ナビゲーションキー	

詳細は、ユーザーズガイドをお読みください。
⇒ユーザーズガイド第 1 章「各部の名称とはたらき」－「操作パネル」

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この「安全にお使いいただくために」では、お客さまや第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

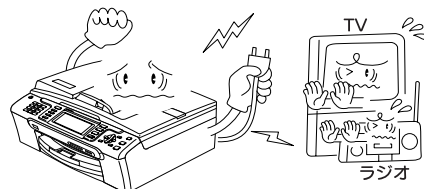
	「してはいけないこと」を示しています。		「しなければいけないこと」を示しています。
	「さわってはいけないこと」を示しています。		「電源プラグを抜くこと」を示しています。
	「分解してはいけないこと」を示しています。		「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。
	「水ぬれ禁止」を示しています。		

注意

- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口（コールセンター）0120-590-381」までご連絡ください。
- お客さまや第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- 電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください。
  ⇒ユーザーズガイド第 3 章「電話帳を利用する」－「電話帳リストを印刷する」、第 2 章「ファックスの便利な受けかた」－「メモリー受信したファクスを印刷する」
  本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本製品のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ユーザーズガイドなど、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（裏表紙）へご注文ください。

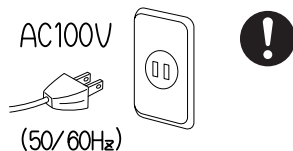
電波障害があるときは

本製品を設置することにより、近くに置いたラジオやスピーカ、マイク等に雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生することがあります。
その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法で対処してください。

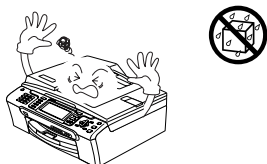
- 本製品をテレビから遠ざける
- 本製品またはテレビの向きを変える

設置についてのご注意

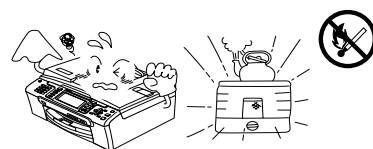
⚠警告

故障や変形、感電、火災の原因になります。

● 電源は AC100V 、50Hz または 60Hz でご使用ください。

● 国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。

● 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因となります。

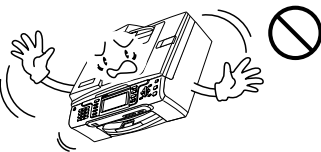
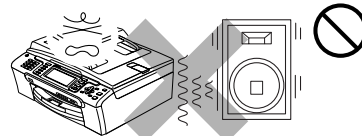
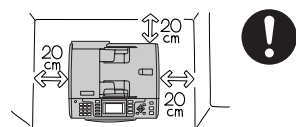
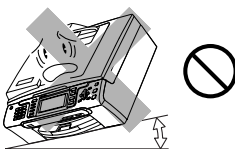
● 水のかかる場所（浴室や加湿器のそばなど）や、湿度の高い場所には設置しないでください。漏電による感電、火災の原因になります。

● いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。
装置内部が結露するおそれがあります。

● 火気や熱器具、揮発性可燃物やカーテンに近い場所に設置しないでください。
火災や感電、事故の原因になります。

● 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因となります。

⚠注意

本製品は以下の場所に設置しないでください。故障や変形の原因になります。

● 温度の高い場所
直射日光が当たるところ、暖房設備などの近く

● 不安定な場所
ぐらついた台の上や、傾いたところなど

● 磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、コタツなどの近く

● 壁のそば
本製品を正しく使用し性能を維持するために周囲の壁から20cm以上はなす

● 傾いたところ
傾いたところに置くと正常に動作しないことがあります

● 風が直接当たるところ
クーラーや換気口の近く

● ほこりや鉄粉、振動の多いところ

● 換気の悪いところ

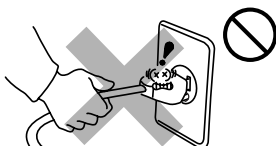
● じゅうたんやカーペットの上

電源についてのご注意

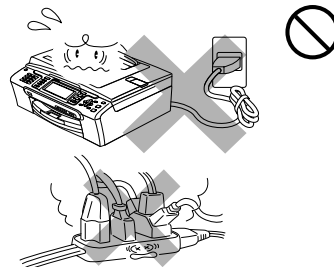
⚠警告

火災や感電、やけどの原因になります。

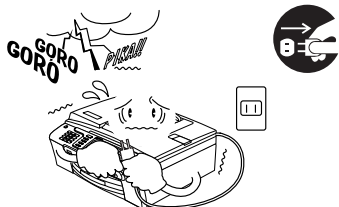
● ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

● 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグ（金属ではない部分）を持って抜いてください。

● たこ足配線はしないでください。

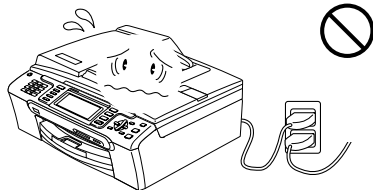
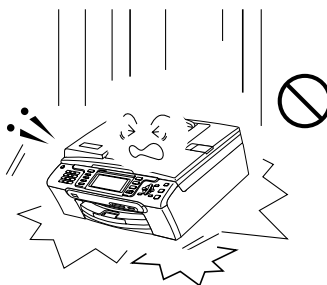
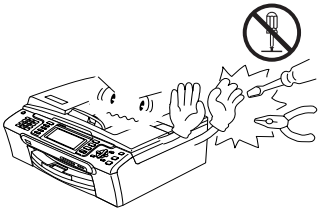
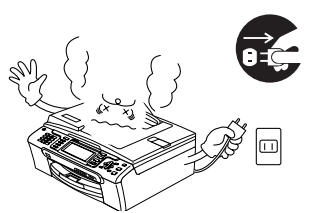
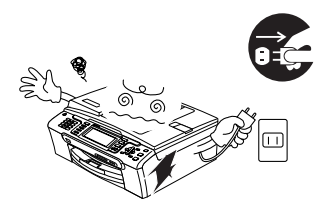
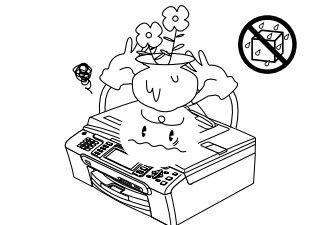
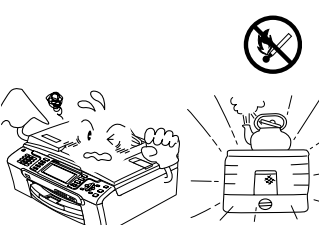
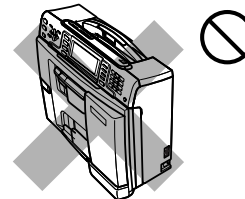
● 電源コードを破損するような以下のことはしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- 加工する
- 無理に曲げる
- 高温部に近づける
- 引っ張る
- ねじる
- たばねる
- 重いものをのせる
- 挟み込む
- 金属部にかける
- 折り曲げをくりかえす

⚠注意

火災や感電、やけどの原因になります。

● 雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。また、電話機コードを本製品から抜いてください。
（電源プラグは抜きやすいところに差し込んでください。）

● 電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。また、本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。緊急時に容易に電源が切れるように本製品はコンセントの近くに設置してください。

その他

● 電源コンセントの共用にはご注意ください。複写機などの高電圧機器と同じ電源はさけてください。
誤動作の原因となります。

● 落下、衝撃を与えないでください。

● 本製品を立てて放置しないでください。
インクが漏れる場合があります。

● 本製品に貼られているラベル類ははがさないでください。

● 梱包されている部品は必ず取り付けてください。

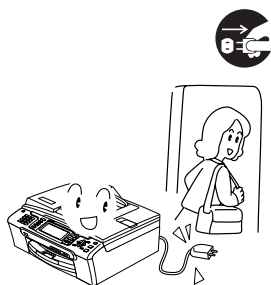
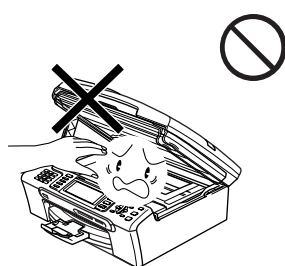
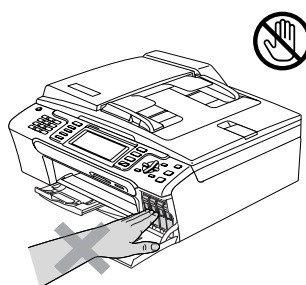
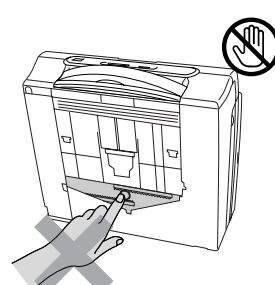
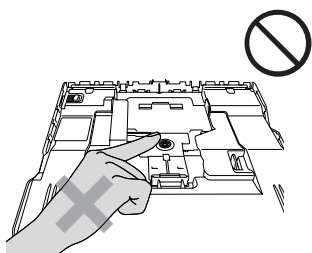
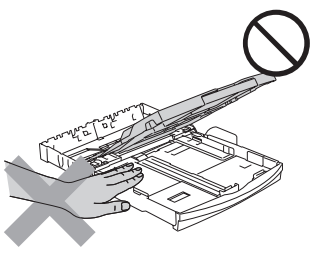
使用についてのご注意

<table>
<tr><th colspan="4">警告</th></tr>
<tr>
<td>● 分解、改造をしないでください。修理などは販売店にご相談ください。分解、改造した場合は保障の対象外になります。
</td>
<td>● 煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源プラグをコンセントからはずし、コールセンターにご相談ください。
</td>
<td>● 本製品を落としたり、破損したときは、電源プラグをコンセントからはずし、コールセンターにご相談ください。
</td>
<td>● 内部に異物が入ったときは、電源プラグをはずして、コールセンターにご相談ください。
</td>
</tr>
<tr>
<td>● 本製品に水や薬品、ペットの尿などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。
万一、液体が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。
</td>
<td>
● 本製品を清掃する際、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。
火災・感電の原因となります。

可燃性スプレーの例
・ほこり除去スプレー
・殺虫スプレー
・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど
・アルコールなどの有機溶剤や液体
</td>
<td>● 火気を近づけないでください。
</td>
<td>
● 電源コードのホコリなどは定期的にとってください。湿気などで絶縁不良の原因となります。
電源コードをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。
● 電源コードは確実に差し込んでください。
</td>
</tr>
</table>

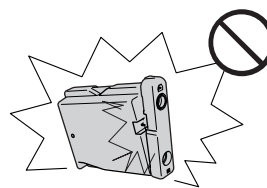
⚠注意

火災、感電、やけど、けがの原因になります。

● 長期不在するときは、安全のため電源プラグをコンセントからはずしてください。

● 本体カバーを閉めるときに、指などをはさまないでください。

● インク挿入口に手や異物を入れないでください。

● 本製品底面の部分に手を触れないでください。

● スライドトレイの回転部に手をはさまないでください。

● 記録紙トレイのトレイカバーを閉めるときに、トレイの端に手を置かないでください。

● インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入らないように注意してください。

● インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。

● 誤ってインクを飲まないでください。

● インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクカートリッジからインクが漏れることがあります。

電波に関するご注意

本製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載（内蔵）しています。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のチャンネルを変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

● 電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。

「DS」：変調方式が DS-SS 方式であることを表す。（IEEE802.11b のとき）

「OF」：変調方式が OFDM 方式を表す。（IEEE802.11g のとき）

「4」：想定される与干渉距離が 40m 以下であることを表す。

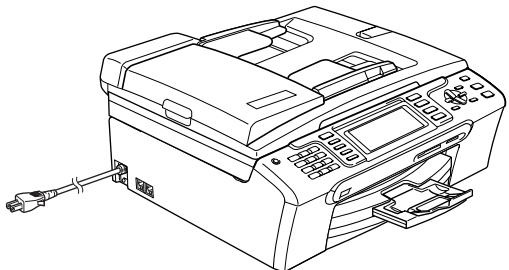
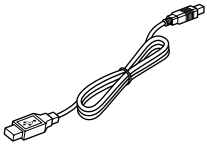
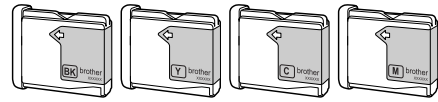
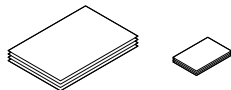
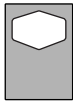
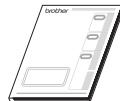
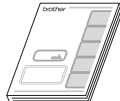
「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

目次

付属品を取り付ける

本製品を箱から出し、付属品の確認や取り付けを行います。

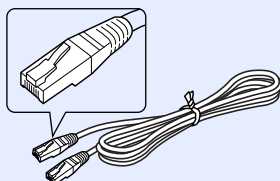
… 箱の中身を確認します

… 付属の用紙を記録紙トレイにセットします

1 付属品を確認する

箱の中に下記の部品が揃っていることを確かめてください。本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一足りないものがあった場合、違うものが入っていた場合、破損していた場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-590-381」にご連絡ください。

本体	USB ケーブル	電話機コード
インクカートリッジ（4 個） ※インクカートリッジは記録紙トレイの上の袋に入っています。	A4 記録紙（普通紙） L 判記録紙（光沢紙）	光沢はがき印刷用下じき
かんたん設置ガイド（本書）	ユーザーズガイド	CD-ROM

注意

■ 本製品をネットワークに接続する LAN ケーブルは同梱されておりません。有線 LAN 環境でお使いになる場合は、カテゴリ 5（100BASE-TX 用）のストレートケーブルをお買い求めの上、お使いください。

箱を開けたときは

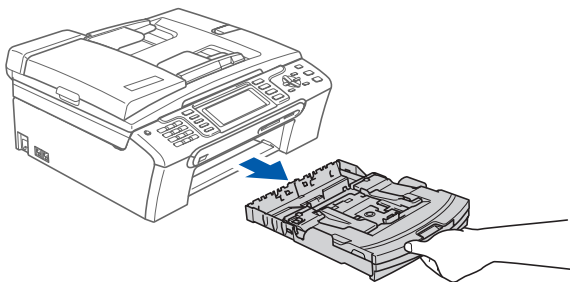
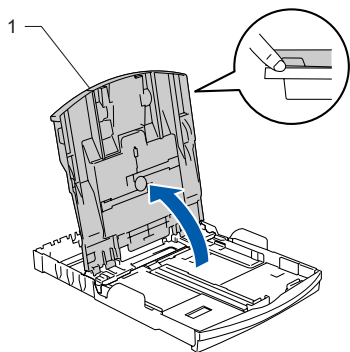
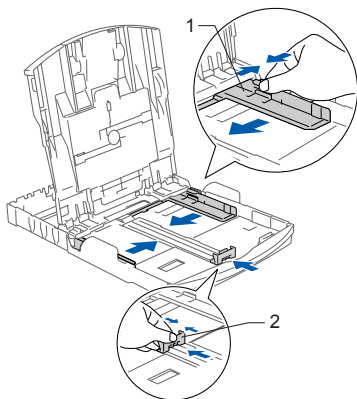
箱から本製品を取り出したときは、固定用テープをはがしてください。
また、箱や梱包材、保護部材 (⇒ 16 ページ「インクカートリッジを取り付ける」) は廃棄せずに保管してください。

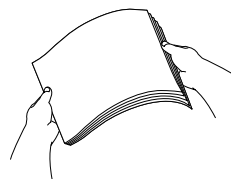
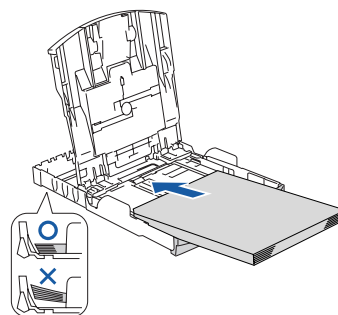
2 用紙をセットする

「印刷テスト」を行うために、記録紙トレイに付属の記録紙（A4）をセットします。

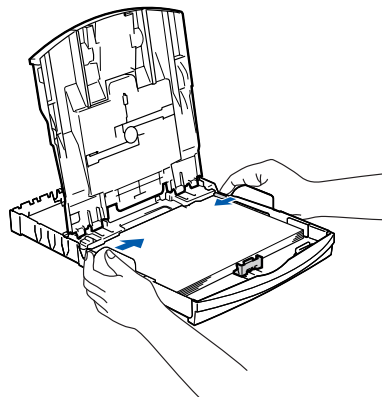
記録紙トレイには、A4 サイズの紙を約 100 枚までセットできます。セットできる記録紙の詳細については、ユーザーズガイドをご覧ください。
⇒ユーザーズガイド第 1 章「記録紙のセット」

1 記録紙トレイを引き出す

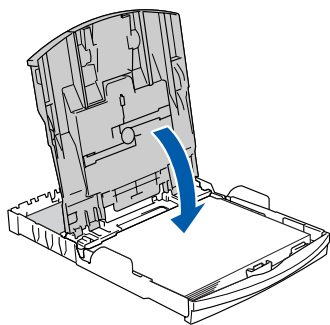
記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。

2 トレイカバー（1）を開く

3 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）をつまんで動かし、記録紙のサイズに合わせる

4 記録紙をさばく

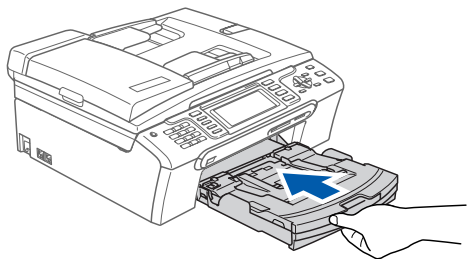
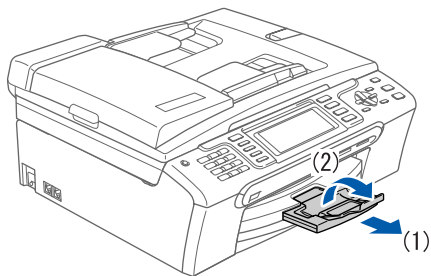
紙づまりや給紙ミスがないように、記録紙をさばきます。記録紙がカールしていないことを確認してください。

5 印刷したい面を下にして上側から先に記録紙をセットする

記録紙の先端がコツンと当たるところまでセットします。強く押し込まないでください。

6 幅のガイドと長さのガイドを、記録紙サイズに合わせて調節する

両手で幅のガイドを寄せるように調節します。
記録紙が記録紙トレイの中で平らになっていることを確認してください。また、幅と長さのガイドが記録紙に合っていることを確認してください。

注意

- トレイカバーが倒れて指を挟まないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

7 トレイカバーを閉じる

8 記録紙トレイを元にもどす

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。
トレイを強く押し込むと紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。

9 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出し(1)、フラップを起こす(2)

設置・接続する

本製品の準備が終わったら、次は電話回線や電源に接続し、実際に印刷できるかどうかテストします。

… 本製品を電話回線に接続します。

… 本製品にインクカートリッジを取り付けます。

… 印刷品質のチェックを行います。

… 回線種別を設定し、正常に接続できたか確認します。

… ファクスの受信方法を設定します。

… 現在の日付と時刻を合わせます。

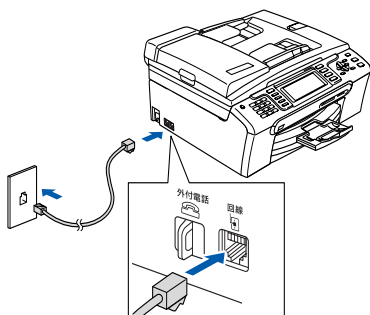
… 自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。

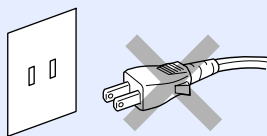
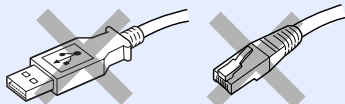
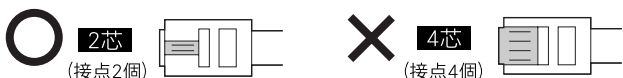
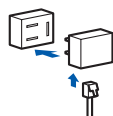
STEP1 付属品を取り付ける
STEP2 設置・接続する
STEP3 パソコン（Windows®）に接続する
STEP3 Macintosh® に接続する

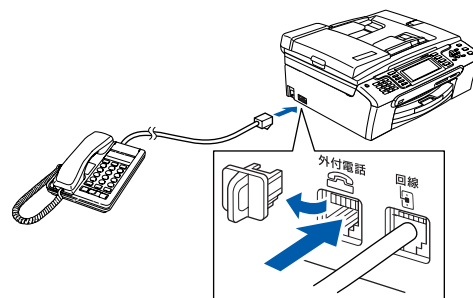
1 接続する

注意

- 以下に示す接続方法は一例です。間違った接続は他の機器に悪影響を与える可能性があります。以下に示す接続方法以外の接続をしたいときは、販売店にご相談ください。
- お使いの電話回線にすでに何台かの電話機が接続されている場合は、本製品がご使用できない場合があります。この場合は、配線工事が必要となります。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取り付け工事を行った販売店またはご利用の電話会社にご相談ください。
- お使いの回線が ADSL・ISDN の場合は、「いろいろな接続」をご覧ください。⇒ 24 ページ「いろいろな接続」

1 付属の電話機コードを本製品側面の「回線」接続端子と壁側の電話機コード差し込み口に差し込む

注意

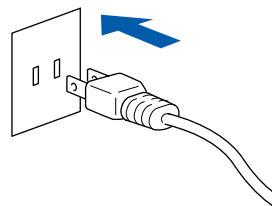
- 電源はまだ入れないでください。先に電話機コードから接続します。

- ここではまだパソコンと接続しません。USB ケーブルや LAN ケーブルは接続しないでください。

- 付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6 極 2 芯の電話機コードをお使いください。6 極 4 芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。

- 3 ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。

- 直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 お使いの電話機を本製品に接続して使用する場合は、本製品側面の外付電話端子と電話機を接続する

- 外付電話端子に接続できる電話機は、1 台だけです。
- ファクス付き電話は接続できません。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を外付け電話機として接続する場合は、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「外付け電話優先」にしてください。
  ⇒ユーザーズガイド第 1 章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

お使いの電話機を留守番電話としてご使用の場合

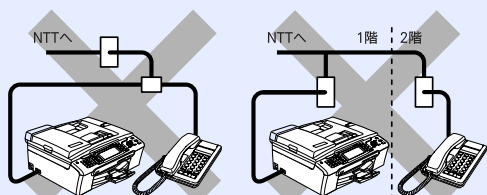
以下の点に注意してください。

- 外付け留守番電話機の設定は「留守」にしてください。
- より確実に受信するために、応答するまでの呼出回数は短かめ（1 ～ 2 回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に 4、5 秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20 秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGM を録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に取り付けられていることを確認してください。

3 電源コードをコンセントに差し込む

注意

■ **ブランチ接続（並列接続）はしないでください。**

ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。
- 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。
- コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- 本製品で保留にした場合、並列電話機では本製品の保留状態を解除できません。
- 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイ、などのサービスが正常に動作しません。
- パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。

「ブランチ接続（並列接続）」とは、一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

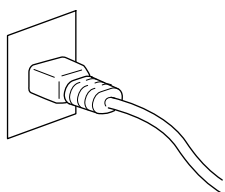
2 インクカートリッジを取り付ける

⚠ 警告

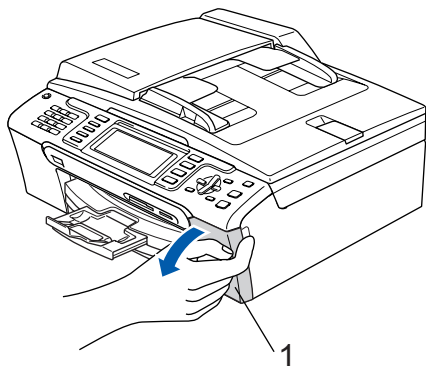
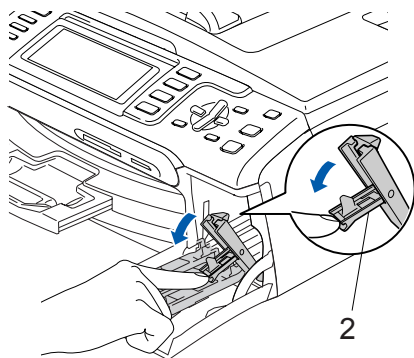
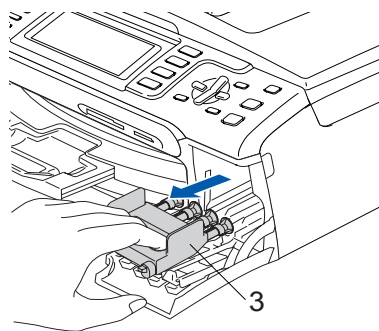
● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

注意

■ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

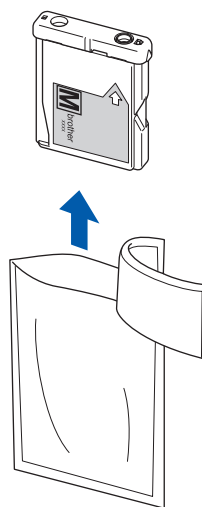
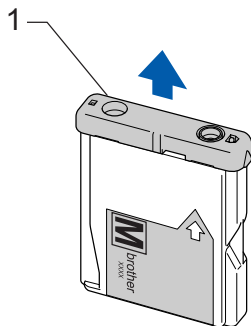
1 電源コードがコンセントに差し込まれていることを確認する

2 液晶ディスプレイの表示を確認する

液晶ディスプレイには【カートリッジがありません】と表示されています。

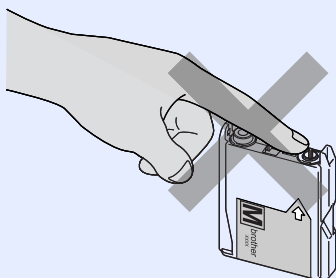
3 インクカバー（1）を開く

4 レバー（2）を下に引く

5 インク挿入口にセットされている黄色い保護部材（3）を取り出す

注意

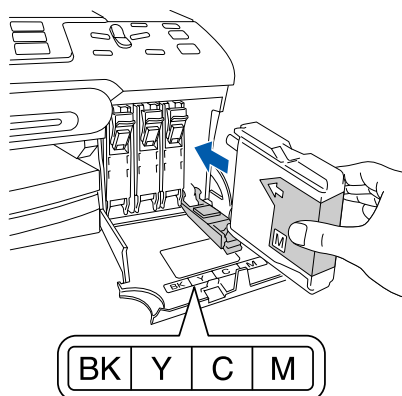
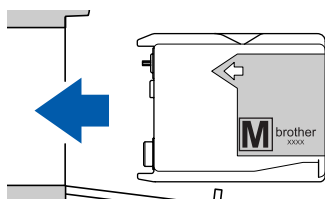
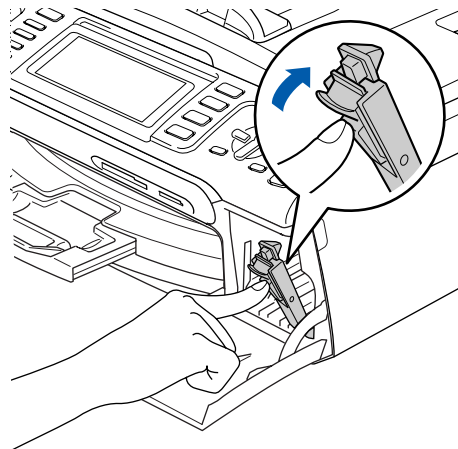
■ 保護部材は捨てないでください。本製品を輸送する時に必要です。

6 インクカートリッジを準備する

本製品の付属品のインクカートリッジを開封します。

7 インクカートリッジについている、黄色いキャップ（1）を取る

インクカートリッジの開封時にキャップが外れることがありますが、品質に影響はありませんので、そのまま取り付けてください。

注意

■ インクカートリッジのインク開口部には手を触れないでください。インク開口部はインクで濡れています。衣類につくとシミになりますのでご注意ください。

8 インクカートリッジを取り付ける

インクカバーに刻印されている文字に従って、インクカートリッジを取り付けます。

インクカートリッジは、本製品に向かって左の面にラベルがあるように、垂直にして差し込みます。

9 インクカートリッジを押し込むようにレバーをゆっくりと、カチッと音がするまで確実に押す

10 インクカバーを閉じる

自動的に約 4 分間、プリントヘッドのクリーニングが行われます。

クリーニングを行う音がしますが、異常ではありませんので、電源を切らないでください。

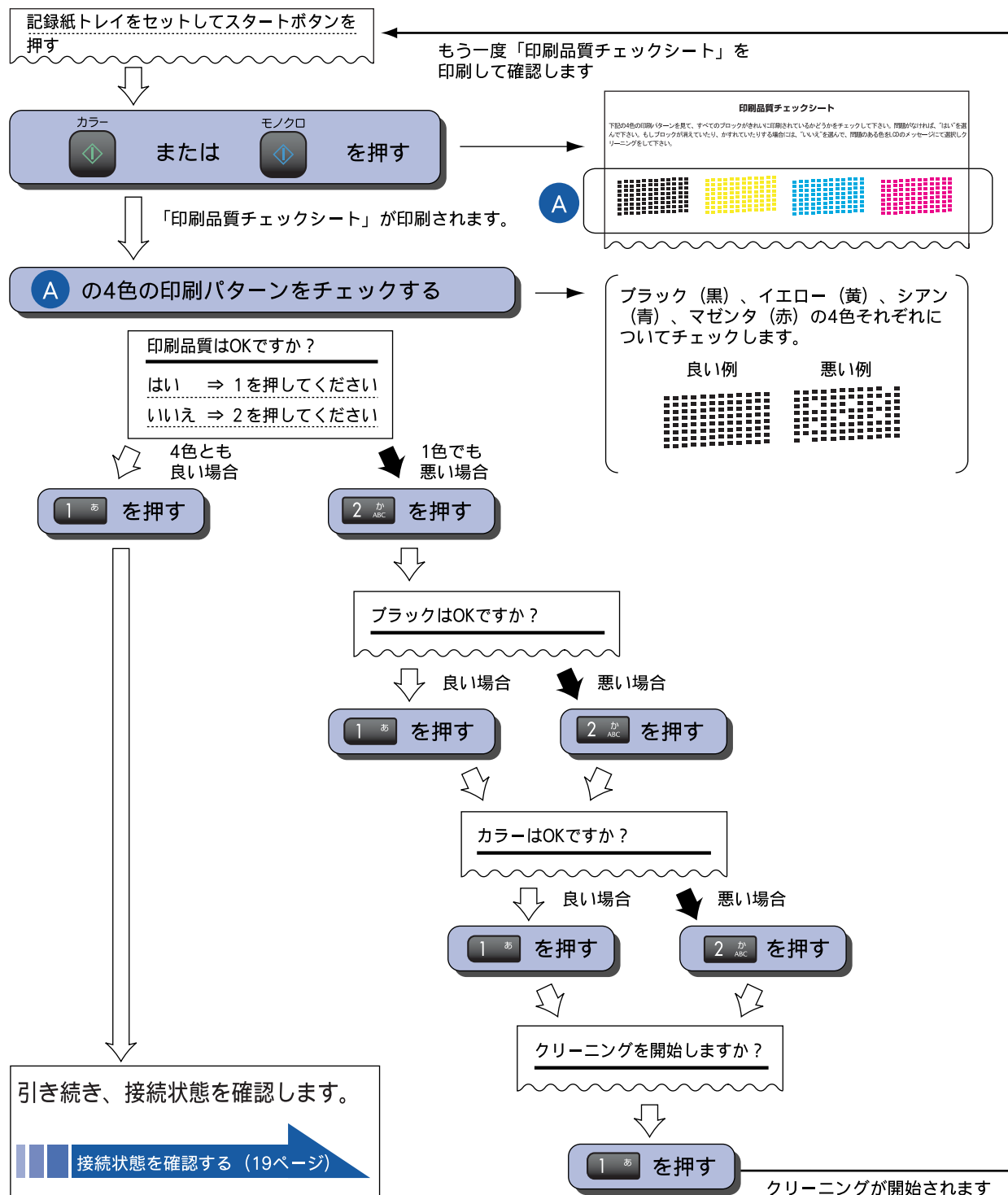
【インク切れ】と表示された場合は、インクカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

プリントヘッドのクリーニングが終わると、【記録紙をセットしてスタートボタンを押す】と表示されます。

引き続き、印刷テストへ進みます。

「印刷テストをする」（18 ページ）

3 印刷テストをする

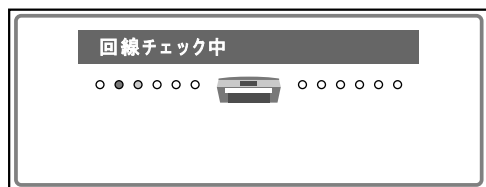
プリントヘッドのクリーニングが終わると、ディスプレイに【記録紙をセットしてスタートボタンを押す】と表示されます。
以下の手順にしたがって、印刷品質のチェックを行います。

クリーニングを繰り返しても印字品質が悪い場合は、3～5時間放置した後で、再度「印刷品質チェックシート」を印刷してみてください。

インクをしっかり取り付けずに印刷テストをしてしまった場合、5回以上クリーニングを行わないと印刷品質が正常にならないことがあります。

4 接続状態を確認する

ここで、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか、「177」（天気予報：有料）などに電話がつながるかご確認ください。電話がつながらない場合は、手動で回線種別を設定してください。

1 回線種別を確認する

印刷テストが終わると、回線種別の自動設定が始まります。

自動設定が終わると、設定された回線種別が 2 秒間、ディスプレイに表示されます。

- 【プッシュ回線です】
- 【ダイヤル 20PPS です】

自動で設定されなかった場合は、手動で回線種別を設定してください。

正常に接続できている場合は、「受信モードを選ぶ」に進みます。

「受信モードを選ぶ」（20 ページ）

注意

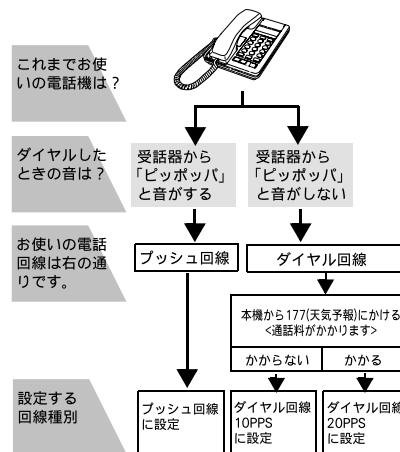
- ダイヤル回線 10pps を使用しているときは、必ず手動で回線種別を設定してください。
- ひかり電話サービスや直収電話サービスをご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は電話がかけられませんので、手動で回線種別を「プッシュ」に設定してください。
- 構内交換機（PBX）、マンションアダプタなど一般と異なる回線につないでいるときや、自動設定できないときは、手動で回線種別を設定します。
- IP フォンアダプタをご使用の場合、アダプタを一時的に外し、電話回線に直接つないで電源コードを接続し直すと自動設定できます。それでも自動設定できない場合は、手動で設定してください。
- 本製品を電話回線に接続せずに使用する（ファクス機能を使用しない）場合は、手動で回線種別を【ダイヤル 20PPS】に設定します。

手動で回線種別を設定する

回線種別がうまく自動設定されなかった場合や、あとで回線種別の設定を変更したい場合に手動で設定してください。

(1) オンフック を押し「ツー」という音が聞こえることを確認する

- 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。「接続する」（14 ページ）
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

(2) 電話回線の種別を確認する

(3) メニュー を押し、▲▼ で【初期設定】を選び、OK を押す

(4) ▲▼ で【回線種別設定】を選ぶ

(5) ◀ ▶ で回線種別を選び、OK を押す

回線種別がわからないときは、「ダイヤル 20PPS」「プッシュ」「ダイヤル 10PPS」の順に設定してみてください。

ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、「プッシュ」に設定してください。

(6) 停止/終了 を押す

回線種別の手動設定終了後、「177」（天気予報）につながることをご確認ください。（通話料金がかかります）

◆ 設定を終了します。

【電話機コードを接続してください】と表示されたときは

電話機コードが正しく接続されていません。
5 分以内に電話機コードを正しく接続してください。（14 ページ）

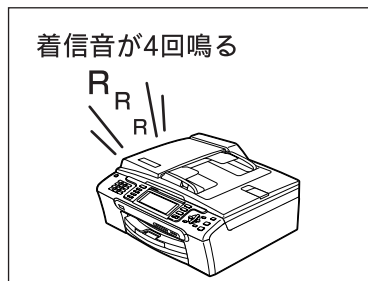
電話機コードを接続しない場合は、停止/終了 を押したあと、1 を押してください。

※ 正しく接続しないまま 5 分以上経過すると、回線種別は【ダイヤル 20PPS】（ダイヤル 20PPS 回線）に設定されます。

5 受信モードを選ぶ

お使いの環境にあわせて受信モードを選びます。お買い上げ時は「ファクス専用モード」に設定されています。

電話機を接続しない（お買い上げ時）

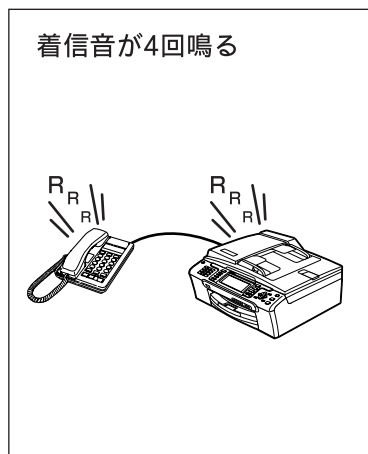
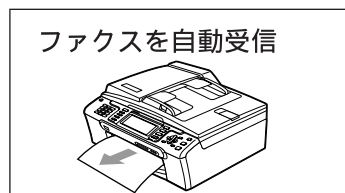
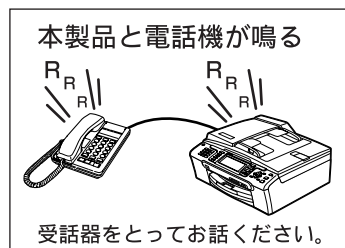
● ファクス専用【FAX= ファクス専用】

着信音が4回鳴る

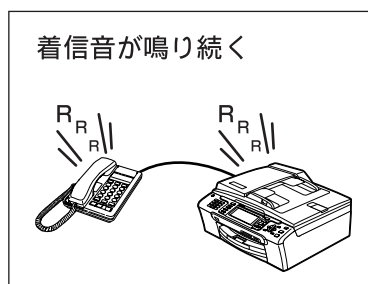
ファクスのとき →

ファクスを自動受信

※ 呼出回数を 0 回にすると、着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
※ ファクス専用モードで電話を受けるには、呼出音が 4 回鳴るまでに電話に出る必要があります。**お使いの電話機を本製品に接続する場合は、このモードに設定しないでください。**

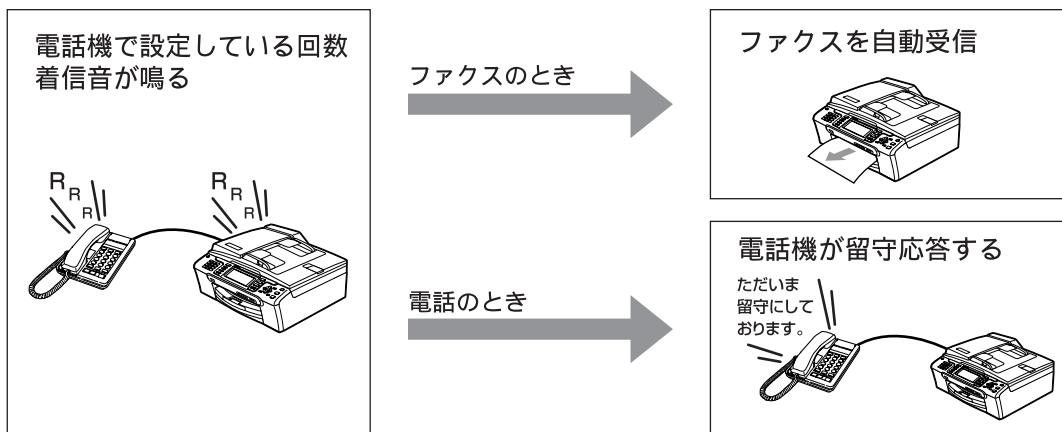
電話機を接続する（*）

● 自動で切り替える【F/T= 自動切換え】

※ 呼出回数を 0 回にすると、着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
※ 回線がつながった後に鳴る再呼出音の回数も設定できます。詳しくは、ユーザーズガイドをご覧ください。

● 手動で切り替える【TEL= 電話】

＊ファクス付き電話は接続できません。

自動切替モードでは、本製品が着信すると、本製品と接続している電話機に出なかった場合でも相手に通話料金がかかります。

ファクスが自動受信されない場合は、モノクロ 2 を押して手動でファクスを受信してください。

電話機を接続する（*）	● 外出するとき【留守 = 外付け留守電】
	電話機で設定している回数着信音が鳴る ファクスのとき ファクスを自動受信 電話のとき 電話機が留守応答する
	※ 本製品と接続している留守番電話機の設定は、以下のようにしてください。 • 本製品と接続している留守番電話機の設定は「留守」にしてください。 • より確実に受信するために、呼出回数が設定できる機種では、応答するまでの呼出回数を短め（1 ～ 2 回）に設定してください。 • 応答メッセージは、最初に 4、5 秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20 秒以内）に録音してください。 • 応答メッセージには、BGM を録音しないでください。 • 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に取り付けられていることを確認してください。

＊ファクス付き電話は接続できません。

> メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動受信しません。
>
> 留守番電話機の機能が一部使えなくなる場合があります。（転送機能など）

着信音が鳴っている間に本製品と接続している電話に出た場合	
相手がファクスのとき 受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら、相手がファクスです。 を押してファクスを受信します。	**相手が電話のとき** そのまま通話できます。

受信モードを設定する

［受信モード］

本製品の使用目的に応じて、受信モードを選びます。

1   **を押し、▲▼で【初期設定】を選び、**

  を押す

2 **で【受信モード】を選ぶ**

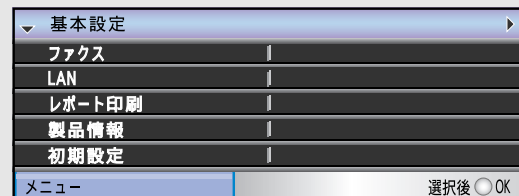
3   **で受信モードを選び、**   **を押す**

受信モードは、上の表を参考に【FAX= ファクス専用】【F/T= 自動切換え】【留守 = 外付け留守電】【TEL= 電話】から選びます。

4   **を押す**

6 日付と時刻を設定する［時計セット］

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、ファクス送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

1 メニュー **を押す**

メニュー画面が表示されます。

2 △▽ **で【初期設定】を選び、** OK **を押す**

3 △▽ **で【時計セット】を選び、** OK **を押す**

4 西暦の下 2 桁を入力し、 OK **を押す**

例：2007 年の場合は、0 7 を押します。

5 月を 2 桁で入力し、 OK **を押す**

例：12 月の場合は、1 2 を押します。

6 日付を 2 桁で入力し、 OK **を押す**

例：21 日の場合は、2 1 を押します。

7 時刻を 24 時間制で入力し、 OK **を押す**

例：午後 0 時 45 分の場合は、

1 2 4 5 を押します。

日付や時刻を間違えて入力したときは、クリア/バック を押すと、入力し直すことができます。

8 停止/終了 **を押す**

設定が終わり、ディスプレイに日付、時刻が表示されます。

時刻はあくまで目安です。気になるときは、 1 カ月おきに合わせ直してください。

7 名前とファクス番号を設定する［発信元登録］

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙に印刷されます。

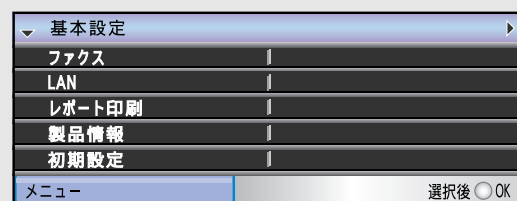
2007/12/21 15:25 052XXXXXXX　山田　太郎　ページ 01/01

FAX送付状

1 メニュー を押す

メニュー画面が表示されます。

2 ▲▼ で【初期設定】を選び、OK を押す

3 ▲▼ で【発信元登録】を選び、OK を押す

4 ファクス番号を入力し、OK を押す

20 桁まで入力できます。
ハイフンは入力できません。

5 名前を入力し、OK を押す

名前として入力できる文字数は 16 文字までです。

文字の入力方法については、ユーザーズガイドをご覧ください。

⇒ユーザーズガイド付録「文字の入れかた」

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

発信元登録を削除するときは

以下の手順で発信元登録を削除します。

(1) メニュー を押し、▲▼ で【初期設定】を選び、OK を押す

(2) ▲▼ で【発信元登録】を選び、OK を押す

(3) ▲▼ で【変更する】を選び、OK を押す

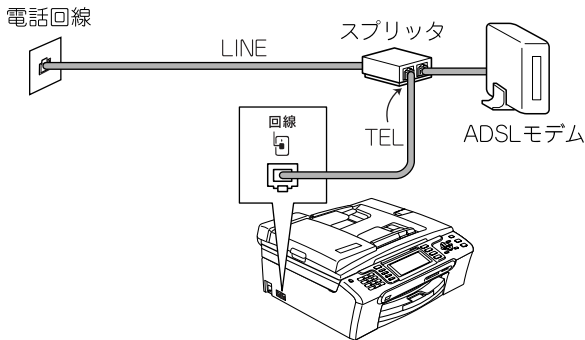
(4) クリア/バック を押して 1 文字ずつファクス番号を削除し、OK を押す

(5) 停止/終了 を押す

いろいろな接続

ADSL をご利用の場合

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、本製品を ADSL スプリッタの TEL 端子または PHONE 端子に接続してください。

スプリッタに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。

- お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。
- 詳しい設定については、スプリッタや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッタを交換すると改善する場合があります。

注意

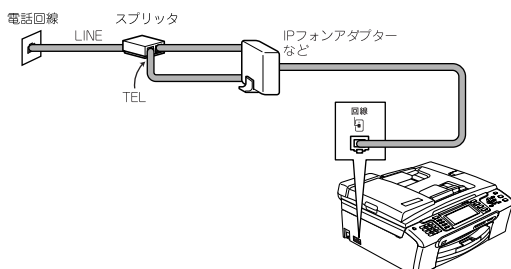
■ ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されていない場合、本製品と ADSL モデムは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

IP フォンなどの IP 網をご利用の場合

(1) IP フォンをご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。
その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 19 ページ「手動で回線種別を設定する」

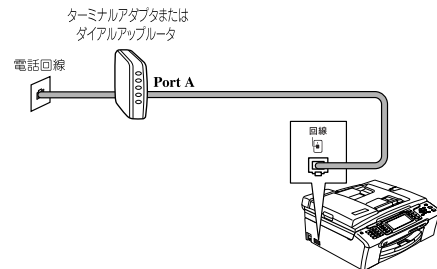
(2) IP 網を使用してファクス通信を行う場合

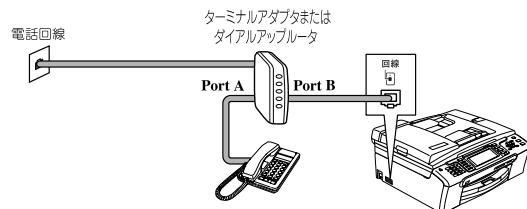
契約しているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。

ISDN をご利用の場合

本製品を ISDN 回線のターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

- 本製品：回線種別を【プッシュ回線】に設定する
- ターミナルアダプタ：本製品を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

電話番号が 1 つの場合

本製品を、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。

電話番号が 2 つの場合

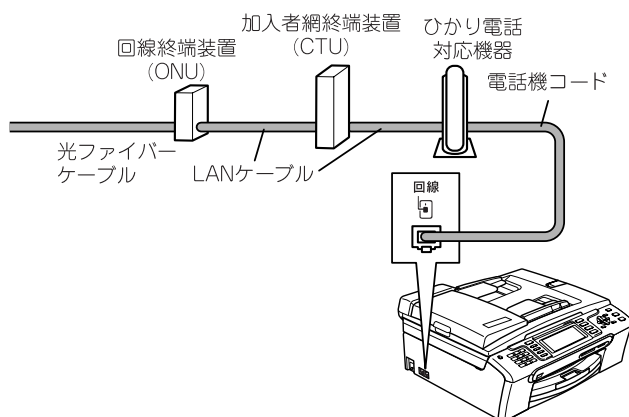
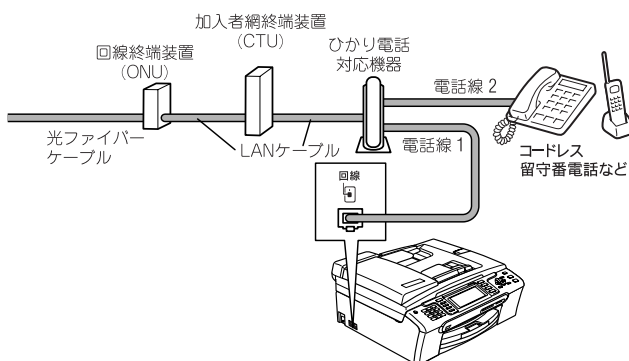
本製品を、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータのアナログポートに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。

- 詳しい設定については、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

注意

■ ISDN 回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、【特別回線対応】で【ISDN】を設定してください。⇒ユーザーズガイド第 7 章「特別設定について」－「特別な回線に合わせて設定する」

■ 本製品が使用できないときは、ユーザーズガイドの「故障かな？と思ったら」をご覧ください。また、ターミナルアダプタの設定を確認してください。ターミナルアダプタの設定の詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

■ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプタ側のデータ設定と、本製品側の設定が必要です。⇒ユーザーズガイド第 1 章「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」

ひかり電話をご利用の場合

● ひかり電話で複数番号を使う場合

注意

■ ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を「プッシュ」に設定してください。
⇒ 19 ページ「手動で回線種別を設定する」

■ 特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

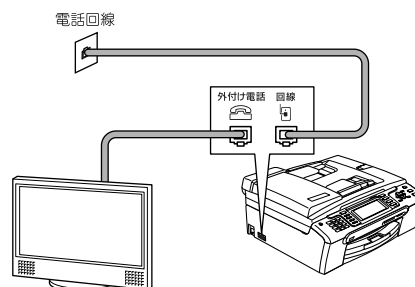
ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。

加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。

回線終端装置（ONU）、加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

ハイビジョンテレビを接続する場合

本製品とCSチューナーやデジタルテレビを接続するときは、外付電話端子に接続してください。

構内交換機（PBX）・ホームテレホン・ビジネスホンをご利用の場合

本製品を構内交換機（PBX）などに接続する場合は、次のいずれかの方法で行います。

注意

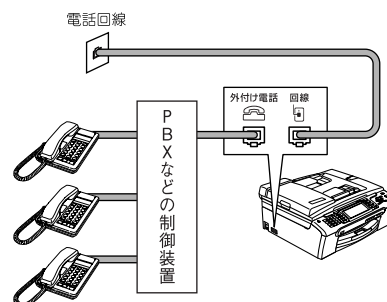
■ 構内交換機、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。⇒ 19 ページ「手動で回線種別を設定する」

■ 着信音が鳴っても本製品が自動応答しない場合、本製品の特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。
⇒ユーザーズガイド 第 7 章「特別設定について」ー「特別な回線に合わせて設定する」

ビジネスホンとは
電話回線を 3 本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。

ホームテレホンとは
電話回線 1、2 本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンも使用できる家庭用の簡易交換機です。

本製品の外付け電話としてホームテレホン、ビジネスホンを接続する

本製品の外付電話端子に構内交換機（PBX）などの制御装置を接続してください。

本製品を構内交換機（PBX）の内線電話として使用する

構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

注意

■ 本製品の特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。⇒ユーザーズガイド 第 7 章「特別設定について」ー「特別な回線に合わせて設定する」

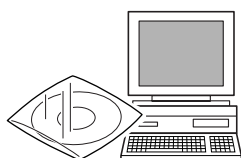
PBX などの制御装置がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれません。本製品のナンバー・ディスプレイの設定を【なし】にしてください。⇒ユーザーズガイド第 1 章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

パソコン（Windows®）に接続する

本製品をパソコン（Windows® 機）と接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。（Macintosh® をお使いの方は、「STEP3　Macintosh® に接続する」（51 ページ）をお読みください。）

… 動作環境や制限事項を確認します

… 本製品をプリンタやスキャナとして使用するために必要なソフトウェアをインストールします

プリンタ、スキャナなどの各機能の使いかたについては、付属のCD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」（HTML形式）をご覧ください。

※ Windows® のパソコンにドライバをインストールした後は、Windows® の［スタート］メニューから「画面で見るマニュアル」を閲覧できます。

1 インストールの前に

本製品をパソコンと接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、ドライバや付属のソフトウェアなどをインストールする必要があります。
ソフトウェアをインストールする前に、CD-ROM に収録されている内容と、パソコンの動作環境を確認してください。

ドライバとは、本製品をプリンタやスキャナとして使用できるようにするためのソフトウェアです。

CD-ROM の内容

付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットして表示される画面から、以下のことが行えます。

インストール
本製品をプリンタやスキャナとして使用するために必要なドライバをインストールします。また、本製品をより便利にお使いいただくために以下のソフトウェアもインストールします。 • Presto!® PageManager® スキャンしたファイルを管理するソフトウェアです。TWAIN/WIA に準拠しています。 • ControlCenter3 スキャナ機能や PC-FAX 機能などさまざまな機能の入り口となるソフトウェアです。 • TrueType フォント ブラザーオリジナルの日本語フォントです。インストール時に「カスタム」を選ぶと、インストールできます。
その他ソフトウェアとユーティリティ
各種ドライバ、ソフトウェアを追加インストールできます。 • BRAdmin Light ネットワークプリンタなどネットワーク上で使用する機器を管理できるソフトウェアです。 • オートマチックドライバインストーラ ネットワーク環境で本製品を使う場合に便利なツールです。詳しくは、画面で見るマニュアルをご覧ください。 • NewSoft® Presto!® Image Folio 画像を編集できるソフトウェアです。 • FaceFilter Studio 写真を簡単にふちなし印刷できます。また、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したり、赤目の修正や表情を変化させることもできるソフトウェアです。

画面で見るマニュアル
「画面で見るマニュアル」(HTML 形式) がパソコン上で閲覧、印刷できます。
オンラインユーザー登録
オンラインでユーザー登録を行います。
サービスとサポート
• ブラザーホームページ ブラザーのホームページへリンクします。 • ソリューションセンター インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。 • ブラザーダイレクトクラブ インクカートリッジなどが購入できるオンラインショップへリンクします。
修復インストール
インストールがうまくいかなかった場合にクリックすると、ドライバを自動的に修復します。 ※ USB ケーブルで接続している場合にのみ使用できます。

動作環境

本製品とパソコン（Windows®）を接続する場合、パソコン側では以下の動作環境が必要となります。

OS ／ CPU ／メモリー

Windows® 2000 Professional
　Intel Pentium® II プロセッサ 300MHz（Intel Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /64MB（推奨 256MB）以上
Windows® XP
　Intel Pentium® II プロセッサ 300MHz（Intel Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /128MB（推奨 256MB）以上
Windows® XP Professional x64 Edition
　AMD Opteron™ プロセッサ
　AMD Athlon™64 プロセッサ
　Intel® EM64T に対応した Intel® Xeon™
　Intel® EM64T に対応した Intel® Pentium4
　256MB （推奨 512MB ）以上
Windows Vista™
　1 GHz 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) のプロセッサ / メモリ 512MB（推奨 1GB）以上

※ CD-ROM ドライブ必須
※ 本製品のすべての機能を快適にご使用いただくために、以下の環境を推奨します。

- Windows® 2000 Professional または Windows® XP Professional をお使いの場合
  1.0GHz 以上の 32 ビット（x86）プロセッサと 256MB 以上のシステムメモリを搭載したパソコン。
- Windows Vista™ をお使いの場合
  1.2GHz 以上の 32 ビット（x86）デュアルコアプロセッサと 1GB 以上のシステムメモリを搭載したパソコン。

ディスク容量

700MB 以上（Windows Vista™ 以外）/
1.1GB 以上（Windows Vista™）の空き容量

Web ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 5.5 以上が必要です。
※ Microsoft Internet Explorer 6 以上を推奨します。

インターフェース

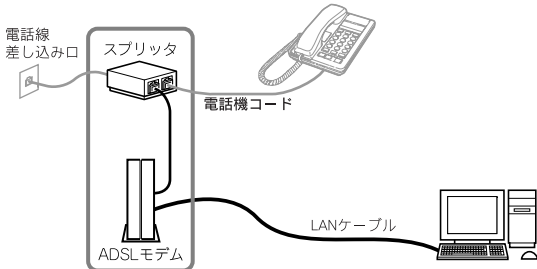
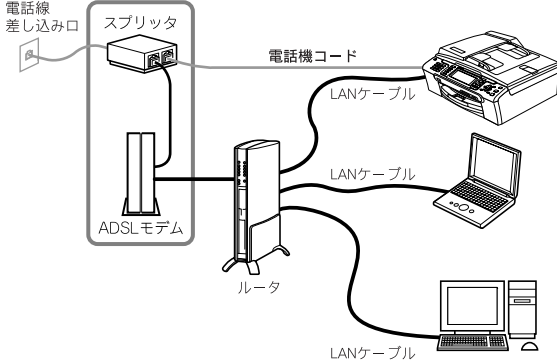
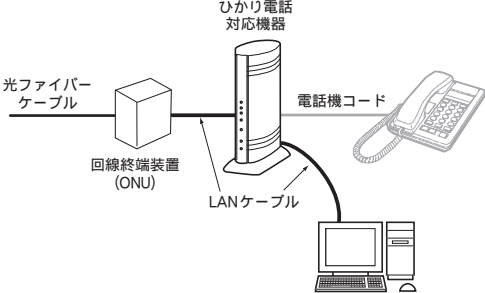
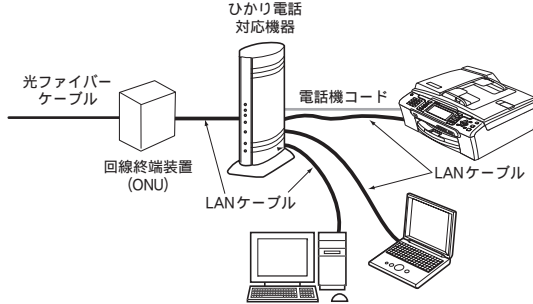
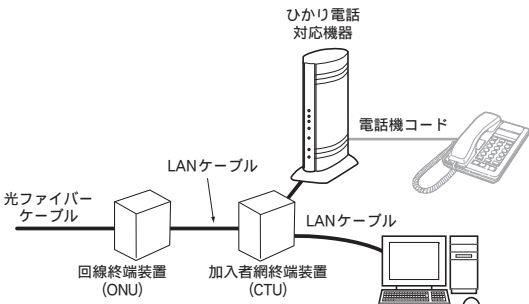
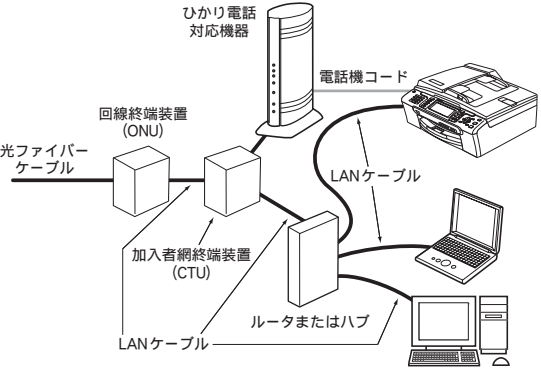
- USB 2.0 フルスピード
- 有線ネットワーク（10BASE-T）/（100BASE-TX）
- 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g）

※ LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。
※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
※ USB2.0 ハイスピード対応のパソコンでもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。
※ USB1.1 対応のパソコンとも接続できます。

CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

インストールの際、Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x 64 Edition/Windows Vista™ を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンする必要があります。

ファイアウォールやウィルス対策ソフトをお使いの場合の注意事項

ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能や、Windows® のファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを無効にしてください。

ネットワーク環境（有線 LAN）で複数のパソコンから使用する場合

ADSL や CATV（ケーブルテレビ）、光ファイバーなどのインターネット環境で、複数のパソコンを使用している場合は、本製品を LAN ケーブルで接続すると、どのパソコンからも本製品をプリンタ、スキャナとして利用することができます。

本製品を接続する前	本製品を接続した後

● 一般的な ADSL 環境での接続例

※ お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。

● 光ファイバー環境での接続例
（NTT 東日本、KDDI ひかり One、Yahoo! BB フォン光など）

● 光ファイバー環境での接続例
（NTT 西日本）

本製品を接続する前	本製品を接続した後
● 一般的な CATV 環境での接続例 （J:COM などのケーブルテレビ局）	

ネットワーク環境で使用する主な機器の説明

- スプリッタ
  電話（音声）信号と ADSL 信号を分離するものです。
- ADSL モデム
  ADSL 信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- ONU（回線終端装置）
  光の信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- CTU（加入者網終端装置）
  NTT 西日本のひかり回線を終端し、通信に必要な情報を設定する装置です。ルータ、ハブ、パソコン、ひかり電話対応機器などはこの装置に接続します。
- ひかり電話対応機器
  今お使いの電話機（アナログ電話機）や FAX 機を接続する装置です。NTT 東日本、KDDI、SoftBank テレコムなどからレンタルされる機器にはルータ機能が内蔵されています。
- ルータまたはハブ
  ネットワーク環境で複数のパソコンなどの機器を接続するときに使用します。
- VP（RSU）
  ボイスポートまたはリモートサービスユニットと呼ばれ、ケーブルテレビ局が固定電話サービスを行うための装置です。
- ケーブルモデム
  同軸ケーブルを流れる信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。

ネットワーク接続に必要なものの準備

(1)　ルータ

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。

(2)　LAN ケーブル

本製品とルータを接続するのに必要です。カテゴリ 5（100BASE-TX 用）のストレートケーブルをお使いください。

- ルータの導入・接続方法については、お使いのルータの取扱説明書をご覧ください。
- ADSL モデム・回線終端装置などの機器に関するご質問は、提供メーカーにお問い合わせください。

準備ができたら、「LAN ケーブルで接続する」へ進みます。

Windows® の場合

「LAN ケーブルで接続する場合」（37 ページ）

Macintosh® の場合

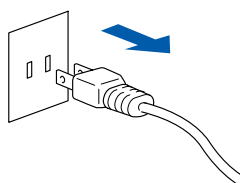
「LAN ケーブルで接続する場合」（59 ページ）

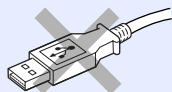
2 ドライバとソフトウェアをインストールする

注意

- ■ インストールをする前に、「STEP1　付属品を取り付ける」「STEP2　設置・接続する」が終わっていることをご確認ください。
- ■ メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことをご確認ください。
- ■ 起動しているアプリケーションがある場合は、終了してからインストールを始めてください。
- ■ 本製品にUSBケーブルとLANケーブルを同時につないでご使用になりたい場合は、手順にしたがって両方のインストールを行ってください。このとき、LANケーブルとUSBケーブルを積み上げて、本体内部の溝におさめてください。(コア付きのUSBケーブルはご使用になれません。)

USBケーブルで接続する場合

1 本製品の電源コードをコンセントから外す

注意

- ■ ここではまだUSBケーブルは接続しないでください。

2 パソコンの電源を入れる

Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista™を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンします。

3 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

モデルを選択する画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

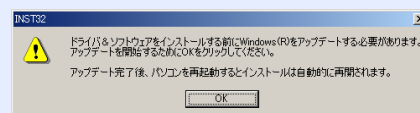
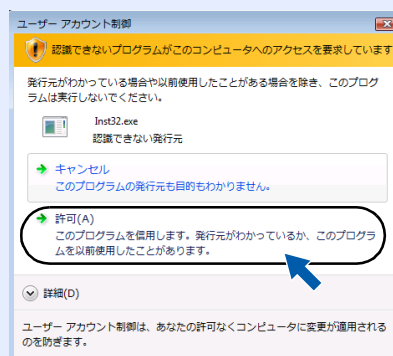
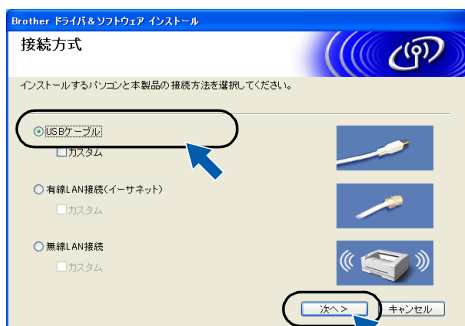
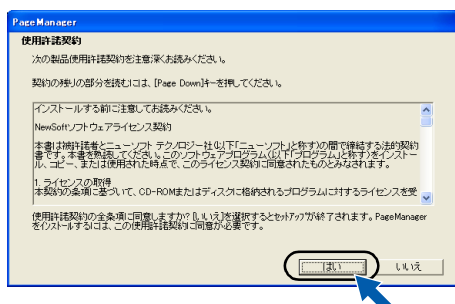
メイン画面が表示されます。

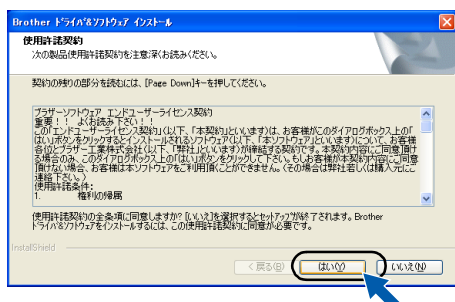
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「START.EXE」をダブルクリックしてください。

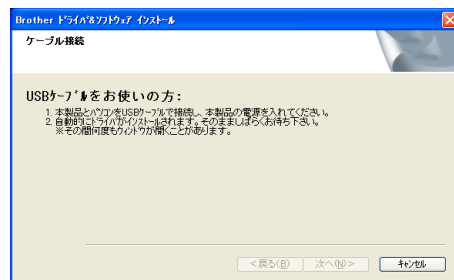
4 「インストール」をクリックする

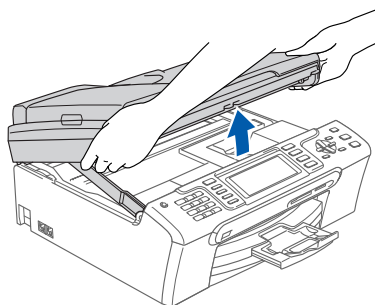
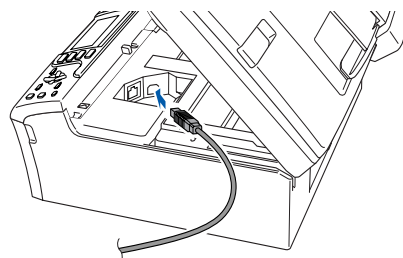
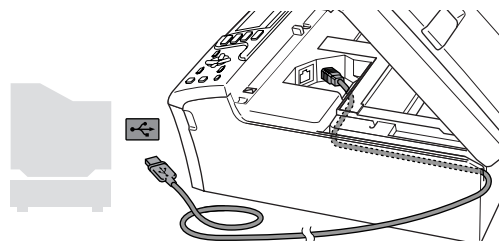
ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

注意

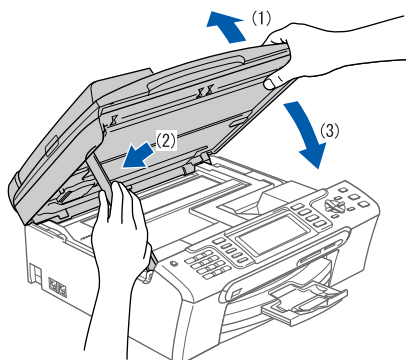
- ■ 以下の画面が表示されたときは、[OK]をクリックし、Windows®をアップデートしてください。パソコンが再起動すると、自動的にインストールが続行されます。

- ■ Windows Vista™をお使いの場合、以下の画面が表示されたときは、「許可」をクリックしてください。

5 「USB ケーブル」を選び、[次へ] をクリックする

6 Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、[はい] をクリックする

Presto!® PageManager®がインストールされます。
Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

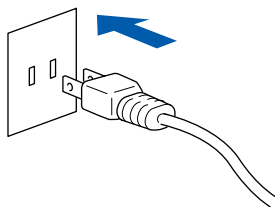
7 使用許諾契約の内容を確認し、[はい] をクリックする

Windows Vista™ をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして [インストール] をクリックし、インストールを完了させてください。

8 パソコンにケーブル接続の画面が表示されたら、本製品とパソコンを USB ケーブルで接続する

(1) 本製品の本体カバーを開ける

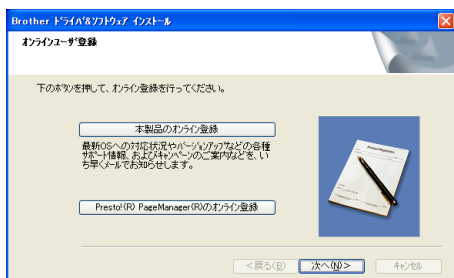
本体カバーをしっかりと固定される位置まで上げてください。

(2) USB ケーブル接続端子に USB ケーブルを接続する

(3) USB ケーブルを本製品の溝におさめ、パソコンに USB ケーブルを接続する

(4) 本体カバーを閉じる

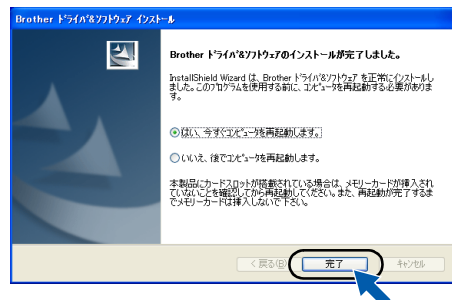
固定をとるために少し本体カバーを持ち上げ（1）、本体カバーサポートをゆっくり押しながら（2）、本体カバーを閉めます。

注意

■ 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

9 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

インストールが自動的に開始されます。
インストール中に、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、ユーザー登録画面が表示されるまで、しばらくおまちください。

10 ユーザー登録をする

すぐにユーザー登録をする場合は［本製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録が済んでいる場合や、後でユーザー登録をする場合は手順 11 に進みます。

11 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

12 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
ドライバが正しくインストールされなかった場合は、再起動したあと、自動的にインストール診断ツールが起動します。画面の指示に従ってください。

ドライバがうまくインストールできないときは

ドライバを手順通りにインストールできなかった場合は、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットして表示される画面から［修復インストール］をクリックして、再度インストールし直してください。

Presto!®PageManager がうまくインストールできないときは、一度アンインストールをしてから、再度インストールし直してください。

ドライバをアンインストールするときは

ドライバをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム (プログラム)］－［Brother］－［MFC-480CN］－［アンインストール］の順に選択し、画面の表示に従ってください。

FaceFilter Studio をインストールする

FaceFilter Studio は、写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したり、赤目の修正や表情の変更などを行うソフトウェアです。

注意

■ FaceFilter Studio を初めて起動する前に、次のことを確認してください。
- ドライバやソフトウェアのインストールが完了していること。
- 本製品の電源が入っていること。
- 本製品とパソコンが接続されていること。

1 「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックする

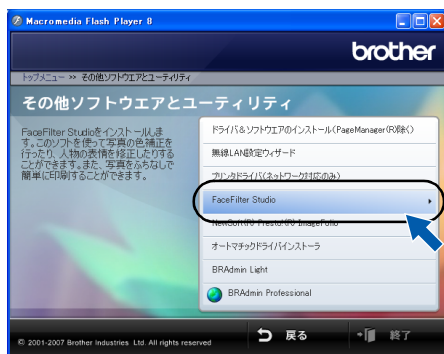
モデルを選択する画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

メイン画面が表示されます。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「START.EXE」をダブルクリックしてください。

2 メイン画面の［その他ソフトウェアとユーティリティ］をクリックする

3 ［FaceFilter Studio］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

FaceFilter Studio のインストールが終了しました。

FaceFilter Studio の使い方について

FaceFilter Studio を使ってふちなし印刷などをする方法については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「プリンタ」

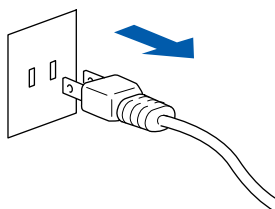
FaceFilter Studio がうまくインストールできないときは、一度アンインストールをしてから、再度インストールし直してください。

LAN ケーブルで接続する場合

ハブまたはルータを使用して、本製品を LAN ケーブルで接続します。複数のパソコンから本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。

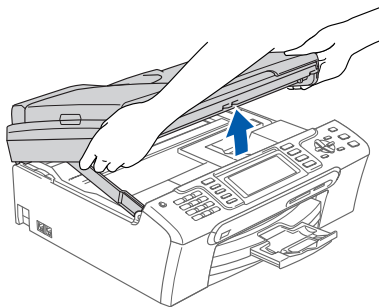
注意

- ■ インストールの前に、本製品の【有線 / 無線切替え】設定が【有線 LAN】になっていることを確認してください。【有線 / 無線切替え】は、メニュー を押し、▲▼ で【LAN】メニューの【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押すと確認できます。
- ■ 本製品のネットワークインターフェースは、有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。

1 本製品の電源コードをコンセントから外す

注意

- ■ 本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが差し込まれていないことを確認してください。

2 本製品を LAN ケーブルで接続する

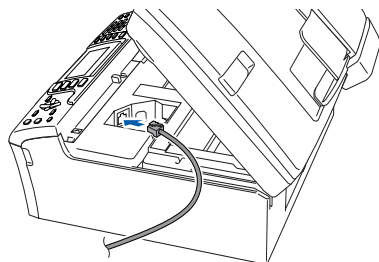
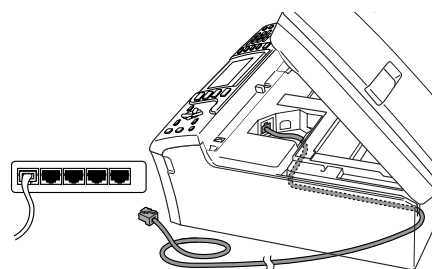
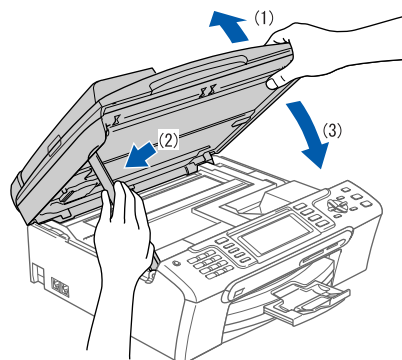
(1) 本製品の本体カバーを開ける

本体カバーをしっかりと固定される位置まで上げてください。

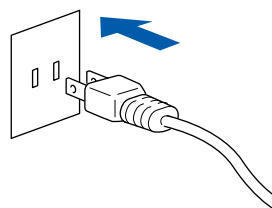
(2) LAN ケーブル接続端子に LAN ケーブルを接続する

(3) LAN ケーブルを本製品の溝におさめ、ハブまたはルータの LAN ポートに LAN ケーブルを接続する

(4) 本体カバーを閉じる

固定をとるために少し本体カバーを持ち上げ（1）、本体カバーサポートをゆっくり押しながら（2）、本体カバーを閉めます。

注意

- ■ 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

3 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

4 パソコンの電源を入れる

Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista™を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンします。

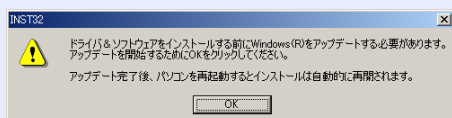
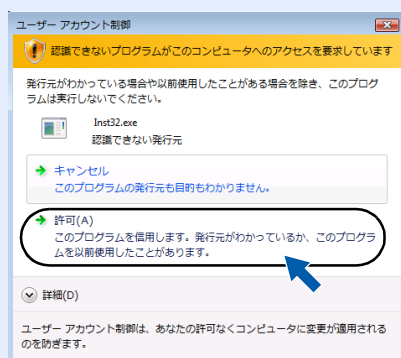
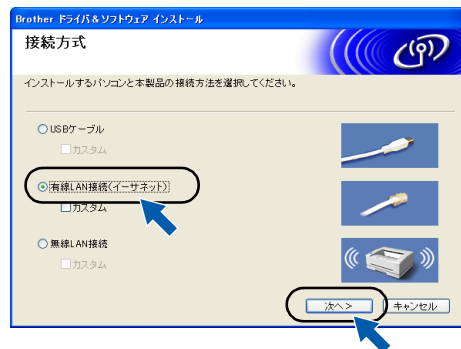
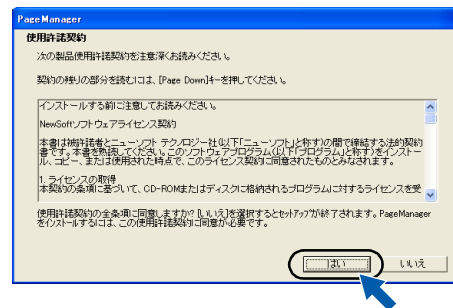
5 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

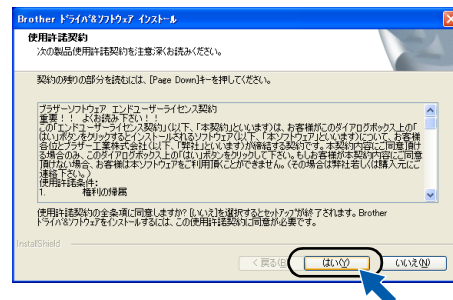
モデルを選ぶ画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「START.EXE」をダブルクリックしてください。

6 「インストール」をクリックする

注意

■ 以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックし、Windows® をアップデートしてください。パソコンが再起動すると、自動的にインストールが続行されます。

■ Windows Vista™ をお使いの場合、以下の画面が表示されたときは、「許可」をクリックしてください。

7 「有線LAN接続」を選び、[次へ] をクリックする

8 Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、[はい] をクリックする

Presto!® PageManager®がインストールされます。Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

9 使用許諾の内容を確認し、[はい] をクリックする

ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。
このとき、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくおまちください。

ネットワーク上に複数のMFC-480CNがある場合は、インストールする製品を一覧から選び、[次へ] をクリックしてください。

注意

■ Windows® XP ServicePack2/ Windows Vista™ をお使いの場合で、以下の画面が表示されたときは、「ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。(推奨)」をクリックして、［次へ］をクリックしてください。

■ Windows® のファイアウォールをお使いにならない場合は、画面で見るマニュアル (HTML 形式) をご覧になり、以下のポートを追加してください。

- ネットワークスキャンをする場合：UDP ポート 54925
- ネットワーク PC-FAX をする場合：UDP ポート 54926
- 上記を追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDP ポート 137

本製品のネットワーク接続の設定が終了している場合は、本製品をリストで選択し、［次へ］をクリックしてください。ネットワーク上の機器が 1 台だけの場合、このウィンドウは表示されず、その機器が自動的に選択されます。

画面の IP アドレス欄に APIPA と表示された場合は、［IP アドレス設定］をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品の IP アドレスを入力します。

Windows Vista™ をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

注意

■ 以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、［はい］をクリックして再度検索を行います。

それでも検索されない場合は、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示にしたがって、ノード名や IP アドレスなどを設定してください。IP アドレスなどを調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。
⇒ 68 ページ「ネットワークの設定内容リストを印刷する」

■ パソコンにインストールされているセキュリティツールのファイアウォールの設定が有効になっている場合も、上記の画面が表示されます。ファイアウォールの設定を確認し、無効にしてください。
⇒ 29 ページ「ファイアウォールやウィルス対策ソフトをお使いの場合の注意事項」

10 ユーザー登録をする

すぐにユーザー登録をする場合は［本製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録が済んでいる場合や、後でユーザー登録をする場合は手順 11 に進みます。

11 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

12 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
ドライバが正しくインストールされなかった場合は、再起動したあと、自動的にインストール診断ツールが起動します。画面の指示に従ってください。

お使いの環境によっては、本製品の IP アドレスを指定してインストールを行わないと、いくつかの機能が使用できない場合があります。この場合は、本製品の IP アドレスを指定してインストールし直してください。⇒ユーザーズガイド第 7 章「故障かな ? と思ったときは（修理を依頼される前に）」

ドライバをアンインストールするときは

ドライバをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-480CN LAN］－［アンインストール］の順に選択し、画面の表示に従ってください。

FaceFilter Studio をインストールする

FaceFilter Studio は、写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したり、赤目の修正や表情の変更などを行うソフトウェアです。

注意

- **FaceFilter Studio を初めて起動する前に、次のことを確認してください。**
  - ドライバやソフトウェアのインストールが完了していること。
  - 本製品の電源が入っていること。
  - 本製品とパソコンがネットワークで接続されていること。

1 「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックする

モデルを選択する画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

メイン画面が表示されます。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「START.EXE」をダブルクリックしてください。

2 メイン画面の［その他ソフトウェアとユーティリティ］をクリックする

3 [FaceFilter Studio] をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

FaceFilter Studio のインストールが終了しました。

FaceFilter Studio の使い方について

FaceFilter Studio を使ってふちなし印刷などをする方法については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「プリンタ」

FaceFilter Studio がうまくインストールできないときは、一度、アンインストールをしてから、再度インストールし直してください。

無線 LAN 環境に接続する

本製品と無線 LAN アクセスポイントを、無線で接続します。お使いのネットワーク上で、本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。

無線 LAN 環境で使用する場合の注意点

● 設置に関する注意
- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

● 通信に関する注意
- 環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線 LAN または USB 接続で印刷することをおすすめします。

無線 LAN に関する用語

● SSID とは

接続先のネットワークを識別するための ID です。接続先の SSID を本製品に設定することによって、無線での通信が行えます。

無線 LAN アクセスポイントの設定によっては、セキュリティの強化のために、SSID を非表示にする機能が有効になっている場合があります。（SSID の隠ぺい）

● 認証方式と暗号方式について

無線 LAN を使用する場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入されるのを防ぐために、セキュリティの設定が必要です。セキュリティに関する設定として、「認証方式」と「暗号化方式」があります。本製品は、以下の方式をサポートしています。
- 認証方式 : オープンシステム認証、共有キー認証、WPA-PSK/WPA2-PSK
- 暗号化方式 :WEP、TKIP、AES

● インフラストラクチャ通信

インフラストラクチャ通信のネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置されています。無線 LAN アクセスポイントは、有線のネットワークへ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線 LAN アクセスポイントを経由して受け取ります。

● 無線 LAN アクセスポイント

ネットワークに無線で接続するための親機のことで、ネットワークの中心に位置します。個々の無線 LAN 端末は子機を装着し、無線 LAN アクセスポイントを介して通信します。無線 LAN アクセスポイントはまた、無線 LAN のセキュリティ管理も行います。無線 LAN ルータと呼ばれることもあります。

● アドホック通信

アドホック通信のネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピュータからすべての印刷ジョブを直接受け取ります。

注意

■ パソコンと無線 LAN アクセスポイントの接続については、無線 LAN アクセスポイントの説明書をご覧ください。
■ 本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが差し込まれていないことを確認してください。
■ USB ケーブルが接続されている場合は、USB ケーブルを本製品から外してください。
■ 無線 LAN の設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから進めてください。⇒ 48 ページ「LAN 設定を初期化する」
■ 本製品のネットワークインターフェースは、有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。
■ アドホックモードで接続する場合は、接続先のパソコンの設定もアドホックモードにする必要があります。
■ 無線 LAN の設定について詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
■ Windows® のパーソナルファイアウォール機能や、ウィルス対策ソフトなどをお使いの場合は、ファイアウォール機能を無効にしてからインストールを行ってください。⇒ 29 ページ「ファイアウォールやウィルス対策ソフトをお使いの場合の注意事項」

用語について詳しくは、画面で見るマニュアルをご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」

ご使用の無線 LAN アクセスポイントが AOSS™ に対応している場合は、本製品と無線 LAN アクセスポイントの無線 LAN 設定をかんたんに行うことができます。ご使用の無線 LAN アクセスポイントに以下のロゴが付いているかご確認ください。

AOSS™ に対応していない場合は、次ページの「操作パネルから無線 LAN の設定をする」へ進んでください。

注意

■ 無線 LAN の設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから進めてください。
初期化方法　⇒ 48 ページ「LAN 設定を初期化する」

1 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

2 本製品の AOSS を押す

◆【無線に切替えますか？】と表示された場合は、

を押してください。

3 無線LANアクセスポイントのAOSS™ボタンを数秒間押す

詳しい設定方法は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

AOSS™ 機能を使って、自動接続が開始されます。

- 【通信エラー】と表示された場合は、もう一度上記の手順をお試しください。
- 設定がうまくいかない場合は、一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけてください。
- 無線電波の強さは、液晶ディスプレイの待ち受け画面で確認できます。

無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、ドライバとソフトウェアのインストールを行ってください。

45 ページ　ドライバとソフトウェアのインストールをする

本製品は、有線 LAN 用、無線 LAN 用の 2 つの MAC アドレス（イーサネットアドレス）を持っています。無線 LAN 接続用の MAC アドレスを調べるときは、本製品のネットワークインターフェースを【無線 LAN】に切り替えてから、「LAN 設定内容リスト」を印刷してください。
⇒画面で見るマニュアル「ネットワークの設定」－「有線／無線切替え」

1 お使いの無線 LAN アクセスポイントの設定を書き留める

以下に記入してください。

アドホックモードの場合は、接続するパソコン上で設定を行い、その設定内容を書き留めてください。また、接続先のパソコンの設定もアドホックモードに設定する必要があります。

アドホックモードの設定については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

SSID（必須）*1	
WEP キー *2、3	
WPA-PSK *3 (TKIP ／ AES) WPA2-PSK (AES)	

*1 SSID の隠ぺい機能を有効にしている場合は、一時的に無効にしてご確認ください。

*2 WEP キーは、次の規定に従い、64bit または 128bit キーに対応する値を ASCII 文字か 16 進数フォーマットで記入します。

- 64(40)bit　ASCII 文字：半角 5 文字で入力します。
  例）"Hello"（大文字と小文字は区別されます）
- 64(40)bit　16 進数：10 桁の 16 進数で半角入力します。
  例）"71f2234aba"
- 128(104)bit　ASCII 文字：半角 13 文字で入力します。
  例）"Wirelesscomms"（大文字と小文字は区別されます）
- 128(104)bit　16 進数：26 桁の 16 進数で半角入力します。
  例）"71f2234ab56cd709e5412aa3ba"

*3 設定されていない場合は、記入する必要はありません。

SSID、WEP キー、WPA-PSK/WPA2-PSK について
⇒ 41 ページ「無線 LAN に関する用語」

2 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

3 無線接続ウィザードを起動する

(1) 本製品の メニュー を押し、▲▼ で【LAN】を選び、OK を押す

(2) ▲▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押す

(3) ▲▼ で【無線接続ウィザード】を選び、OK を押す

◆【無線に切替えますか ?】と表示された場合は、OK を押してください。

無線 LAN の設定ウィザードが起動します。
本製品から接続できる無線ネットワークが検索されます。

注意

■【無線に切替えますか ?】というメッセージが表示されたときは、OK を押してウィザードを続行してください。

4 ▲▼ で本製品と接続する無線LANアクセスポイントを選び、OK を押す

手順 1 で書き留めた SSID を選びます。

注意

■ SSID が表示されない場合は、無線 LAN アクセスポイントの「SSID の隠ぺい機能」を無効にして、再度設定し直してください。

5 認証方法と暗号化方式を設定する

認証方法と暗号化方式について
⇒ 41 ページ「無線 LAN に関する用語」

アドホックモードの場合は、下記の A）または B）のどちらかを選びます。共有キー認証（C と D）の選択肢は表示されません。

A) オープンシステム認証で暗号化なしの場合

(1) で【オープンシステム認証】を選び、OK を押す

※ アドホックモードの場合は、この操作は必要ありません。

(2) で【なし】を選び、OK を押す

◆【設定を適用しますか？／はい ⇒1を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

(3) 1 あ を押す

B) オープンシステム認証で暗号化方式が WEP の場合

(1) で【オープンシステム認証】を選び、OK を押す

※ アドホックモードの場合は、この操作は必要ありません。

(2) で【WEP】を選び、OK を押す

(3) で使用する WEP キーを選び、OK を押す

(4) 手順 1 で書き留めた WEP キーを入力し、OK を押す

⇒ユーザーズガイド付録「文字の入れ方」

◆【設定を適用しますか？／はい ⇒1を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

(5) 1 あ を押す

C) 共有キー認証で暗号化方式が WEP の場合

(1) で【共有キー認証】を選び、OK を押す

(2) で使用する WEP キーを選び、OK を押す

(3) 手順 1 で書き留めた WEP キーを入力し、OK を押す

⇒ユーザーズガイド付録「文字の入れ方」

◆【設定を適用しますか？／はい ⇒1を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

(4) 1 あ を押す

D) 共有キー認証（WPA/WPA2-PSK）で暗号化方式が TKIP または AES の場合

(1) で【WPA/WPA2-PSK】を選び、OK を押す

(2) で【TKIP】または【AES】を選び、OK を押す

(3) 手順 1 で書き留めた WPA/WPA2-PSK（TKIP/AES）キーを入力し、OK を押す

⇒ユーザーズガイド付録「文字の入れ方」

◆【設定を適用しますか？／はい ⇒1を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

(4) 1 あ を押す

6 正常に接続できたか確認する

液晶ディスプレイに【接続しました】と表示されます。

OK を押してください。

> 接続できなかった場合は、手順 3 ～ 5 をもう一度お試しください。

7 本製品の電源コードをコンセントから外し、もう一度差し込む

無線 LAN アクセスポイントから、自動的に本製品に IP アドレスが割り当てられます。

無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、ドライバとソフトウェアのインストールを行ってください。

45 ページ ドライバとソフトウェアのインストールをする

> お使いの無線 LAN アクセスポイントが DHCP を使用していない場合は、手動で設定を行う必要があります。
> ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」

1 パソコンの電源が入っているか確認する

Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista™を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンします。

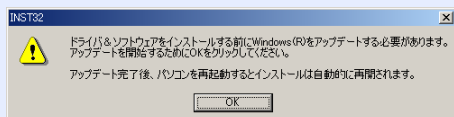
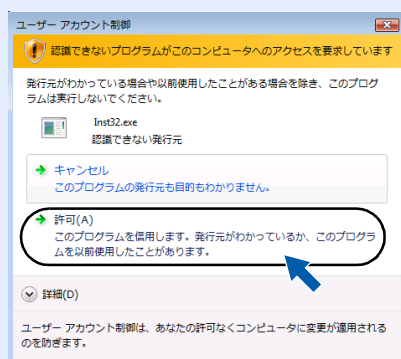
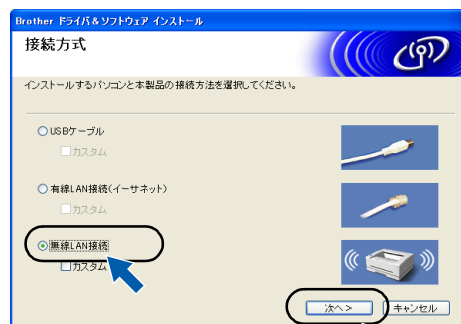
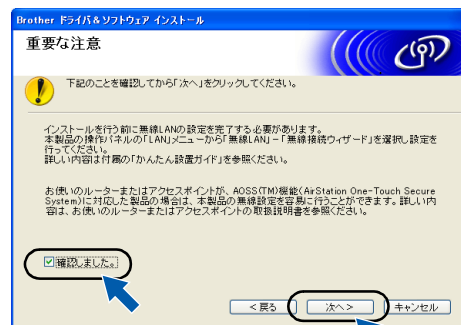
2 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

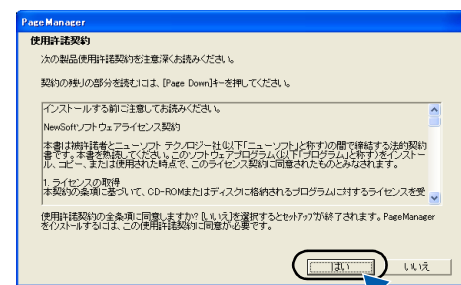
モデルを選ぶ画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

> 画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「START.EXE」をダブルクリックしてください。

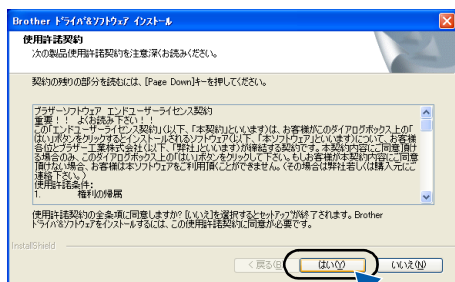
3 「インストール」をクリックする

注意

■ 以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックし、Windows® をアップデートしてください。パソコンが再起動すると、自動的にインストールが続行されます。

■ Windows Vista™ をお使いの場合、以下の画面が表示されたときは、「許可」をクリックしてください。

4 「無線 LAN 接続」を選び、[次へ] をクリックする

5 「確認しました」をチェックして、[次へ] をクリックする

6 Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、[はい] をクリックする

Presto!® PageManager® がインストールされます。

Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

使用許諾の内容を確認し、［はい］をクリックする

ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

このとき、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくおまちください。

ネットワーク上に複数の MFC-480CN がある場合は、インストールする MFC-480CN を一覧から選び、［次へ］をクリックしてください。

注意

■ Windows® XP ServicePack2/ Windows Vista™ をお使いの場合で、以下の画面が表示されたときは、「ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。（推奨）」をクリックして、［次へ］をクリックしてください。

■ Windows® のファイアウォールをお使いにならない場合は、画面で見るマニュアル (HTML 形式) をご覧になり、以下のポートを追加してください。

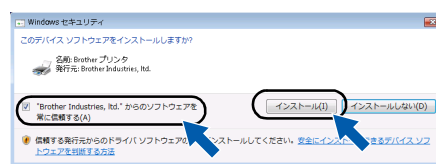
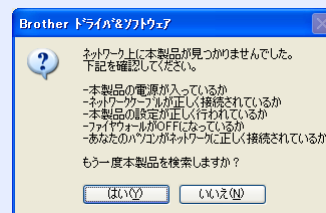
- ネットワークスキャンをする場合：UDP ポート 54925
- ネットワーク PC-FAX をする場合：UDP ポート 54926
- 上記を追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDP ポート 137

本製品のネットワーク接続の設定が終了している場合は、本製品をリストで選択し、［次へ］をクリックしてください。ネットワーク上の機器が 1 台だけの場合、このウィンドウは表示されず、その機器が自動的に選択されます。

画面の IP アドレス欄に APIPA と表示された場合は、［IP アドレス設定］をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品の IP アドレスを入力します。IP アドレスなどを調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。

⇒ 68 ページ「ネットワークの設定内容リストを印刷する」

Windows Vista™ をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

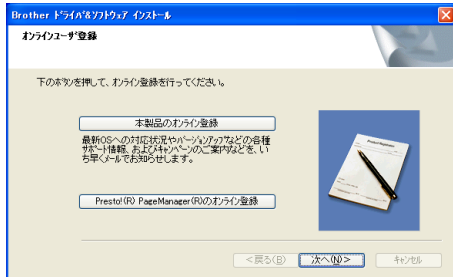
注意

■ 以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、［はい］をクリックして再度検索を行います。

それでも検索されない場合は、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示にしたがって、ノード名や IP アドレスなどを設定してください。IP アドレスなどを調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。

⇒ 68 ページ「ネットワークの設定内容リストを印刷する」

■ パソコンにインストールされているセキュリティツールのファイアウォールの設定が有効になっている場合も、上記の画面が表示されます。ファイアウォールの設定を確認し、無効にしてください。

⇒ 29 ページ「ファイアウォールやウィルス対策ソフトをお使いの場合の注意事項」

8 ユーザー登録をする

すぐにユーザー登録をする場合は［本製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録が済んでいる場合や、後でユーザー登録をする場合は手順 9 に進みます。

9 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

10 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
ドライバが正しくインストールされなかった場合は、再起動したあと、自動的にインストール診断ツールが起動します。画面の指示に従ってください。

お使いの環境によっては、本製品の IP アドレスを指定してインストールを行わないと、いくつかの機能が使用できない場合があります。この場合は、本製品の IP アドレスを指定してインストールし直してください。⇒ユーザーズガイド第 7 章「故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）」

ドライバをアンインストールするときは

ドライバをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-480CN LAN］－［アンインストール］の順に選択し、画面の表示に従ってください。

FaceFilter Studio をインストールする

FaceFilter Studio は、写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したり、赤目の修正や表情の変更などを行うソフトウェアです。

注意

- FaceFilter Studio を初めて起動する前に、次のことを確認してください。
  - ドライバやソフトウェアのインストールが完了していること。
  - 本製品の電源が入っていること。
  - 本製品とパソコンがネットワークで接続されていること。

1 「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックする

モデルを選択する画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

メイン画面が表示されます。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「START.EXE」をダブルクリックしてください。

2 メイン画面の［その他ソフトウェアとユーティリティ］をクリックする

3 ［FaceFilter Studio］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

FaceFilter Studio のインストールが終了しました。

STEP1 付属品を取り付ける
STEP2 設置・接続する
STEP3 パソコン（Windows®）に接続する
STEP3 Macintosh® に接続する

FaceFilter Studio がうまくインストールできないときは、一度、アンインストールをしてから、再度インストールし直してください。

FaceFilter Studio の使い方について

FaceFilter Studio を使ってふちなし印刷などをする方法については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「プリンタ」

LAN 設定を初期化する

無線 LAN 設定に失敗した場合や、再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから、再度無線 LAN 設定を行ってください。
LAN 設定の初期化は、下記の手順で行います。

(1) **メニュー を押し、▲▼ で【LAN】を選び、OK を押す**

(2) **▲▼ で【LAN 設定リセット】を選び、OK を押す**

◆【LAN 設定リセット／はい　⇒ 1 を押してください／いいえ　⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(3) **1 を押す**

◆【再起動しますか？／はい　⇒ 1 を押してください／いいえ　⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(4) **1 を押す**

◆ 数秒後に本製品が再起動します。再起動が終わるまで、しばらくお待ちください。

「BRAdmin Light」をインストールする

BRAdmin Light は、ネットワークプリンタなど、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）に対応している製品であれば、他社製品の管理も一括して行えます。

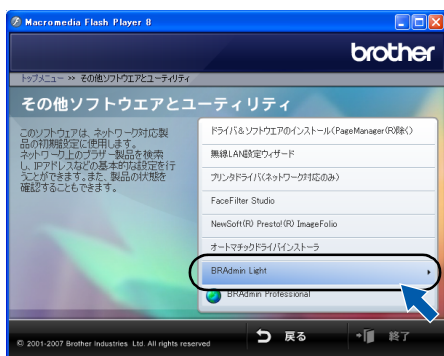
1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

モデルを選ぶ画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「START.EXE」をダブルクリックしてください。

2 メイン画面の［その他ソフトウェアとユーティリティ］をクリックする

3 「BRAdmin Light」をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Windows® で「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、BRAdmin Light を利用できません。ご利用される場合は、ファイアウォールの機能を無効にしてください。

⇒ 29 ページ「ファイアウォールやウィルス対策ソフトをお使いの場合の注意事項」

ネットワークの設定方法について

BRAdmin Light を使ってネットワークを設定する方法については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

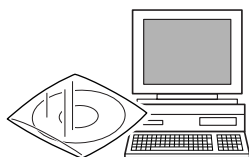
⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」

Macintosh® に接続する

本製品を Macintosh® と接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。(Windows® をお使いの方は、「STEP3　パソコン（Windows®）に接続する」(27 ページ）をお読みください。)

…　動作環境や制限事項を確認します

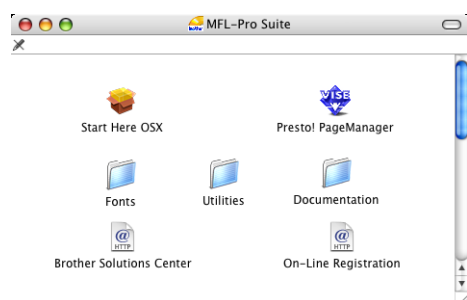
…　本製品をプリンタやスキャナとして使用するために必要なソフトウェアをインストールします

プリンタ、スキャナなどの各機能の使いかた
については、付属のCD-ROMに収録されている
「画面で見るマニュアル」（HTML形式）をご覧ください。

1 インストールの前に

本製品を Macintosh® と接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、ドライバや付属のソフトウェアなどをインストールする必要があります。
ソフトウェアをインストールする前に、CD-ROM に収録されている内容と、Macintosh® の動作環境を確認してください。

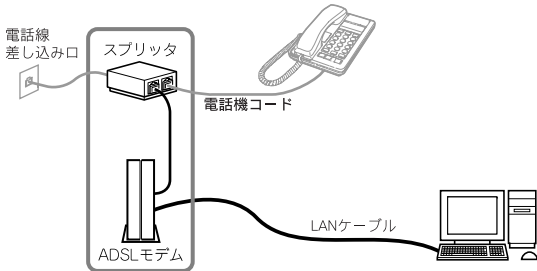
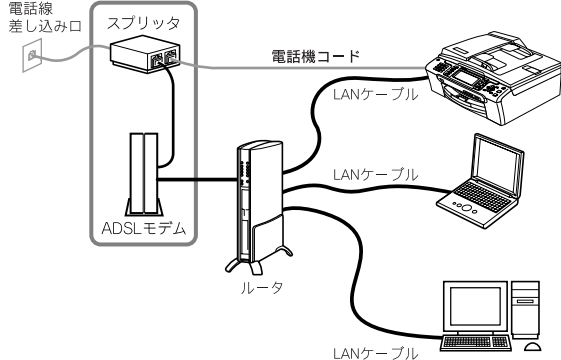
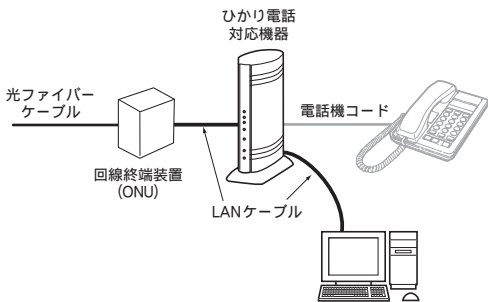
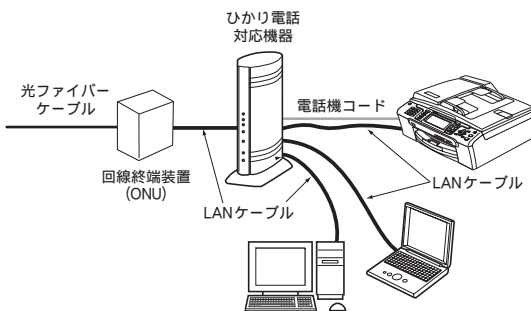
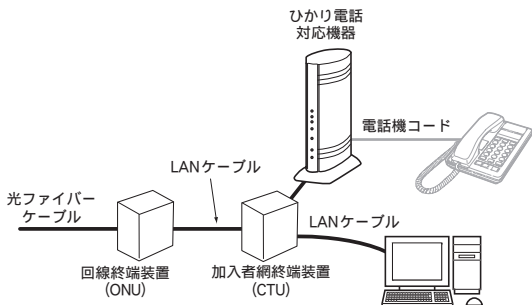
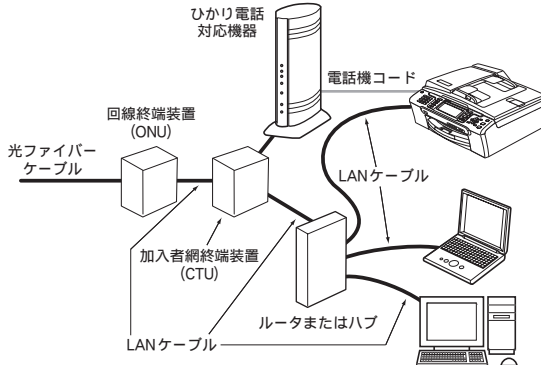
> ドライバとは、本製品をプリンタやスキャナとして使用できるようにするためのソフトウェアです。

CD-ROM の内容

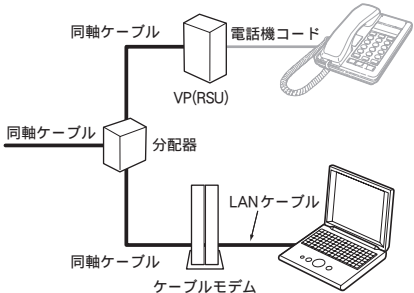
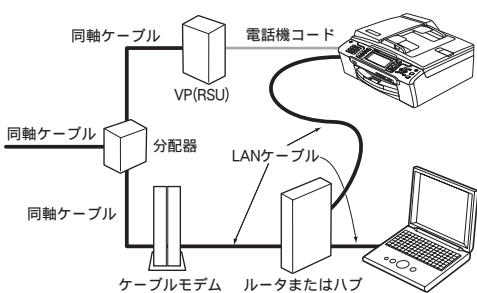
付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットして表示される画面から、以下のことが行えます。

Start Here OS X
本製品をプリンタやスキャナとして使用するために必要なドライバをインストールします。
Presto!® PageManager®
TWAIN準拠のスキャナソフトウェアをインストールします。 Mac OS X 10.3.6 以降をお使いの場合は、CD-ROM からインストール可能です。 Mac OS X 10.2.4 ～ 10.3.8 をお使いの場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からソフトウェアをダウンロードする必要があります。「ドライバとソフトウェアをインストールする」の手順に従ってください。
Fonts
ブラザーオリジナルの和文書体が収録されています。
Documentation
画面で見るマニュアル（HTML 形式）が Macintosh® 上で閲覧、印刷できます。
Brother Solutions Center
インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。
On-Line Registration
オンラインでユーザー登録を行います。
Utilities
無線 LAN 設定ウィザードが用意されています。

動作環境

本製品と Macintosh® を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS
Mac OS X 10.2.4 以降 PowerPC G3 350MHz以上（PowerPC G4/G5, Intel® Core™ Solo/Duo を含む） ※ Classic 環境ではご使用になれません。 ※ CD-ROM ドライブ必須
ディスク容量
480MB 以上の空き容量
インターフェース
• USB 2.0 フルスピード • ネットワーク（10BASE-T）/（100BASE-TX） • 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g） ※ LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。 ※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。 ※ USB2.0 ハイスピード対応の Macintosh® でもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。 ※ USB1.1 対応の Macintosh® とも接続できます。

> CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

ネットワーク環境（有線 LAN）で複数の Macintosh® から使用する場合

ADSL や CATV（ケーブルテレビ）、光ファイバーなどのインターネット環境で、複数の Macintosh® を使用している場合は、本製品を LAN ケーブルで接続すると、どの Macintosh® からも本製品をプリンタ、スキャナとして利用することができます。

本製品を接続する前	本製品を接続した後
● 一般的な ADSL 環境での接続例	
※ お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。	
● 光ファイバー環境での接続例（NTT 東日本、KDDI ひかり One、Yahoo! BB フォン光など）	
● 光ファイバー環境での接続例（NTT 西日本）	

STEP1 付属品を取り付ける

STEP2 設置・接続する

STEP3 パソコン（Windows®）に接続する

STEP3 Macintosh® に接続する

本製品を接続する前	本製品を接続した後
● 一般的な CATV 環境での接続例 （J:COM などのケーブルテレビ局）	

ネットワーク環境で使用する主な機器の説明

- スプリッタ
  電話（音声）信号と ADSL 信号を分離するものです。
- ADSL モデム
  ADSL 信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- ONU（回線終端装置）
  光の信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- CTU（加入者網終端装置）
  NTT 西日本のひかり回線を終端し、通信に必要な情報を設定する装置です。ルータ、ハブ、パソコン、ひかり電話対応機器などはこの装置に接続します。
- ひかり電話対応機器
  今お使いの電話機（アナログ電話機）や FAX 機を接続する装置です。NTT 東日本、KDDI、SoftBank テレコムなどからレンタルされる機器にはルータ機能が内蔵されています。
- ルータまたはハブ
  ネットワーク環境で複数のパソコンなどの機器を接続するときに使用します。
- VP（RSU）
  ボイスポートまたはリモートサービスユニットと呼ばれ、ケーブルテレビ局が固定電話サービスを行うための装置です。
- ケーブルモデム
  同軸ケーブルを流れる信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。

ネットワーク接続に必要なものの準備

(1)　ルータ

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。

(2)　LAN ケーブル

本製品とルータを接続するのに必要です。カテゴリ 5（100BASE-TX 用）のストレートケーブルをお使いください。

- ルータの導入・接続方法については、お使いのルータの取扱説明書をご覧ください。
- ADSL モデム・回線終端装置などの機器に関するご質問は、提供メーカーにお問い合わせください。

準備ができたら、「LAN ケーブルで接続する」へ進みます。

「LAN ケーブルで接続する場合」（59 ページ）

2 ドライバとソフトウェアをインストールする

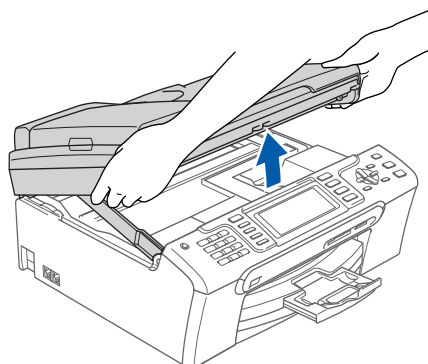
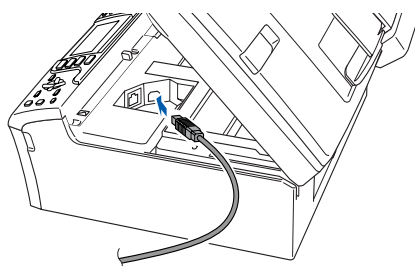
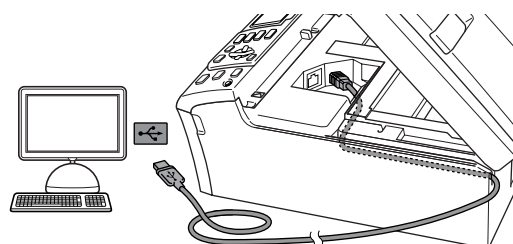
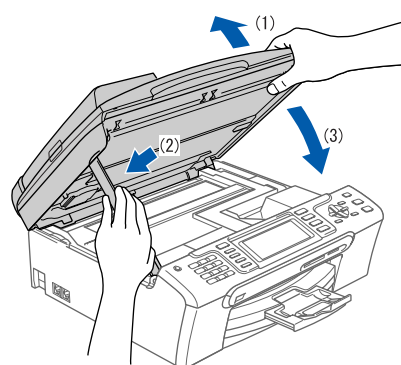
注意

■ インストールをする前に、「STEP1　付属品を取り付ける」「STEP2　設置・接続する」が終わっていることをご確認ください。
■ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことをご確認ください。
■ 起動しているアプリケーションがある場合は、終了してからインストールを始めてください。
■ 本製品に USB ケーブルと LAN ケーブルを同時につないでご使用になりたい場合は、手順にしたがって両方のインストールを行ってください。このとき、LAN ケーブルと USB ケーブルを積み上げて、本体内部の溝におさめてください。（コア付きの USB ケーブルはご使用になれません。）

USB ケーブルで接続する場合

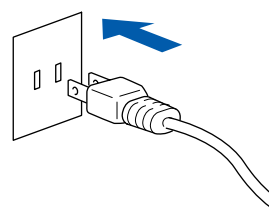
1 本製品とMacintosh®をUSBケーブルで接続する

(1) 本製品の本体カバーを開ける

本体カバーをしっかりと固定される位置まで上げてください。

(2) USB ケーブル接続端子に USB ケーブルを接続する

(3) USB ケーブルを本製品の溝におさめ、Macintosh® に USB ケーブルを接続する

(4) 本体カバーを閉じる

固定をとるために少し本体カバーを持ち上げ（1）、本体カバーサポートをゆっくり押しながら（2）、本体カバーを閉めます（3）。

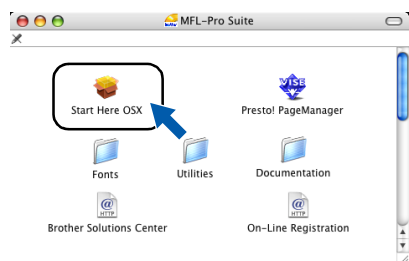
注意

■ 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

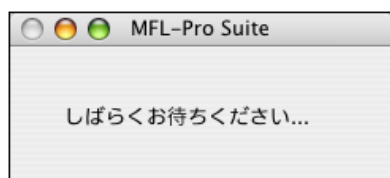
2 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

3 Macintosh® の電源を入れる

4 付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットする

5 「Start Here OS X」をダブルクリックする

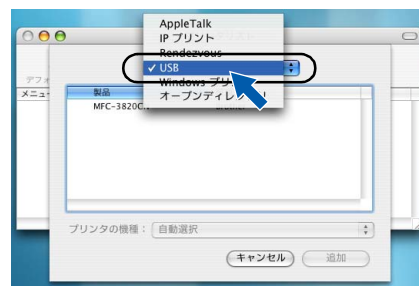
画面の指示に従って、インストールを進めてください。

6 「USB ケーブル」を選び、［次へ］をクリックする

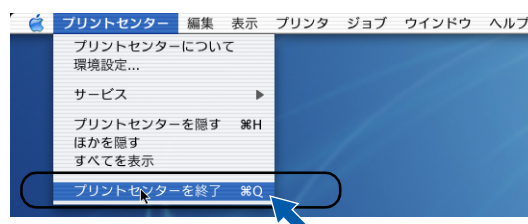
インストールが終わると、Macintosh® の再起動を促す画面が表示されます。画面の指示に従って Macintosh® を再起動してください。再起動が終わるまで、しばらくお待ちください。

再起動後、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。

7 以下の画面が表示されたら、［OK］をクリックする

- Mac OS® X 10.3.x 以降をご利用の場合
  ドライバのインストールが終了しました。続けて、Presto!® PageManager® をインストールする場合は、手順 12 に進みます。
- Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.2.8 をご利用の場合
  手順 8 に進みます。

8 ［追加］をクリックする

9 「USB」を選ぶ

10 本製品を選び、［追加］をクリックする

11 「プリントセンター」メニューから「プリントセンターを終了」を選ぶ

ドライバのインストールが終了しました。
続けて、Presto!® PageManager® をインストールする場合は、手順 12 へ進みます。

STEP1 付属品を取り付ける
STEP2 設置・接続する
STEP3 パソコン（Windows®）に接続する
STEP3 Macintosh® に接続する

⓬「Presto!® PageManager®」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.3.8 をご利用の場合
以下の画面が表示されたら、[Go] をクリックしてサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からソフトウェアをダウンロードしてください。

オンラインユーザー登録のご案内

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。
https://regist.brother.jp/

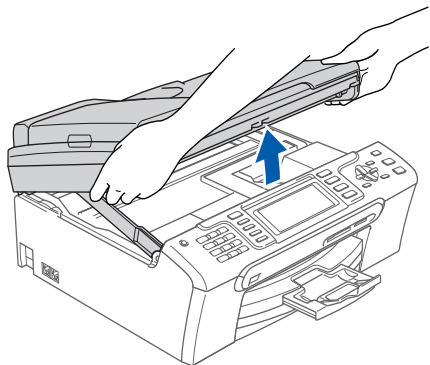
LAN ケーブルで接続する場合

ハブまたはルータを使用して、本製品を LAN ケーブルで接続します。複数のパソコンから本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。

注意

- インストールの前に、本製品の【有線 / 無線切替え】設定が【有線 LAN】になっていることを確認してください。【有線 / 無線切替え】は、メニュー を押し、▲▼ で【LAN】メニューの【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押すと確認できます。
- 本製品のネットワークインターフェースは、有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。

1 本製品と Macintosh® を LAN ケーブルで接続する

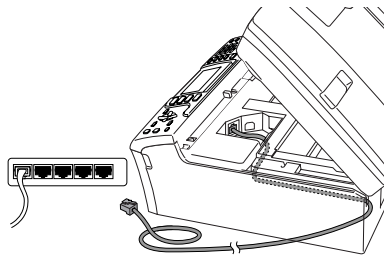
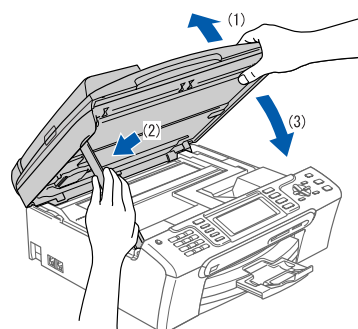
(1) 本製品の本体カバーを開ける

本体カバーをしっかりと固定される位置まで上げてください。

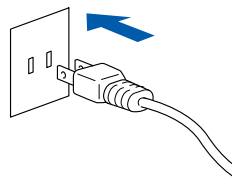
(2) LAN ケーブル接続端子に LAN ケーブルを接続する

(3) LAN ケーブルを本製品の溝におさめ、ハブまたはルータの LAN ポートに LAN ケーブルを接続する

(4) 本体カバーを閉じる

固定をとるために少し本体カバーを持ち上げ（1）、本体カバーサポートをゆっくり押しながら（2）、本体カバーを閉めます（3）。

注意

- 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

2 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

3 Macintosh® の電源を入れる

4 付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットする

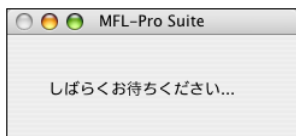
5 「Start Here OS X」をダブルクリックする

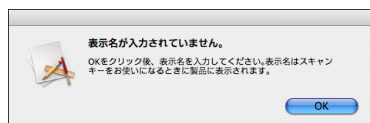
画面の指示に従って、インストールを進めてください。

STEP1 付属品を取り付ける
STEP2 設置・接続する
STEP3 パソコン（Windows®）に接続する
STEP3 Macintosh® に接続する

6 「有線 LAN 接続 (イーサネット)」を選び、[次へ] をクリックする

インストールが終わると、Macintosh® の再起動を促す画面が表示されます。画面の指示に従って Macintosh® を再起動してください。再起動が終わるまで、しばらくお待ちください。

再起動後、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。

ネットワーク上に複数の複合機がある場合は、以下の画面が表示されます。本製品を選んで、[OK] をクリックしてください。

以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックして、表示名を入力してください。

表示名は、15 文字以内で入力します。

※スキャンキー用パスワードについて詳しくは、画面で見るマニュアルをご覧ください。

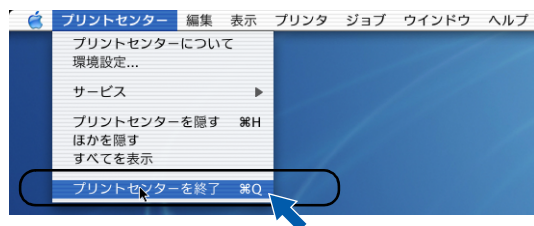
7 以下の画面が表示されたら、[OK] をクリックする

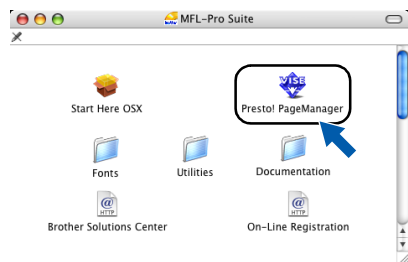
- Mac OS® X 10.3.x 以降をご利用の場合
  ドライバのインストールが終了しました。続けて、Presto!® PageManager® をインストールする場合は、手順 12 に進みます。
- Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.2.8 をご利用の場合
  手順 8 に進みます。

8 [追加] をクリックする

9 下の画面のとおり選択する

10 本製品を選び、[追加] をクリックする

11 「プリントセンター」メニューから「プリントセンター終了」を選ぶ

ドライバのインストールが終了しました。
続けて、Presto!® PageManager® をインストールする場合は、手順 12 へ進みます。

12 「Presto!® PageManager®」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.3.8 をご利用の場合
以下の画面が表示されたら、［Go］をクリックしてサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からソフトウェアをダウンロードしてください。

オンラインユーザー登録のご案内

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。
https://regist.brother.jp/

無線 LAN 環境に接続する場合

本製品と無線 LAN アクセスポイントを、無線で接続します。お使いのネットワーク上で、本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。

無線 LAN 環境で使用する場合の注意点

● 設置に関する注意

- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

● 通信に関する注意

- 環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線 LAN または USB 接続で印刷することをおすすめします。

無線 LAN に関する用語

● SSID とは

接続先のネットワークを識別するためのIDです。接続先のSSIDを本製品に設定することによって、無線での通信が行えます。

無線 LAN アクセスポイントの設定によっては、セキュリティの強化のために、SSID を非表示にする機能が有効になっている場合があります。（SSID の隠ぺい）

● 認証方式と暗号方式について

無線 LAN を使用する場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入されるのを防ぐために、セキュリティの設定が必要です。セキュリティに関する設定として、「認証方式」と「暗号化方式」があります。本製品は、以下の方式をサポートしています。

- 認証方式
  オープンシステム認証、共有キー認証、WPA-PSK/WPA2-PSK
- 暗号化方式
  WEP、TKIP、AES

● インフラストラクチャ通信

インフラストラクチャ通信のネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置されています。無線 LAN アクセスポイントは、有線のネットワークへ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線 LAN アクセスポイントを経由して受け取ります。

● 無線 LAN アクセスポイント

ネットワークに無線で接続するための親機のことで、ネットワークの中心に位置します。個々の無線 LAN 端末は子機を装着し、無線 LAN アクセスポイントを介して通信します。無線 LAN アクセスポイントはまた、無線 LAN のセキュリティ管理も行います。無線 LAN ルータと呼ばれることもあります。

● アドホック通信

アドホック通信のネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピュータからすべての印刷ジョブを直接受け取ります。

注意

- ■ Macintosh® と無線 LAN アクセスポイントの接続については、無線 LAN アクセスポイントの説明書をご覧ください。
- ■ 本製品にメモリーカードまたは USB メモリーが差し込まれていないことを確認してください。
- ■ USB ケーブルが接続されている場合は、USB ケーブルを本製品から外してください。
- ■ 無線 LAN の設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから進めてください。⇒ 48 ページ「LAN 設定を初期化する」
- ■ 本製品のネットワークインターフェースは、有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。
- ■ アドホックモードで接続する場合は、接続先のパソコンの設定もアドホックモードにする必要があります。
- ■ 無線 LAN の設定について詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

用語について詳しくは、画面で見るマニュアルをご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」

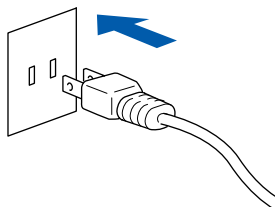
ご使用の無線 LAN アクセスポイントが AOSS™ に対応している場合は、本製品と無線 LAN アクセスポイントの無線 LAN 設定をかんたんに行うことができます。ご使用の無線 LAN アクセスポイントに以下のロゴが付いているかご確認ください。

AOSS™ に対応していない場合は、次ページの「操作パネルから無線 LAN の設定をする」へ進んでください。

注意

■ 無線 LAN の設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから進めてください。

初期化方法　⇒ 48 ページ「LAN 設定を初期化する」

1 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

2 本製品の AOSS を押す

◆【無線に切替えますか ?】と表示された場合は、OK を押してください。

3 無線LANアクセスポイントのAOSS™ボタンを数秒間押す

詳しい設定方法は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

AOSS™ 機能を使って、自動接続が開始されます。

- 【通信エラー】と表示された場合は、もう一度上記の手順をお試しください。
- 設定がうまくいかない場合は、一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけてください。
- 無線電波の強さは、液晶ディスプレイの待ち受け画面で確認できます。

無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、ドライバとソフトウェアのインストールを行ってください。

66 ページ　ドライバとソフトウェアのインストールをする

STEP1 付属品を取り付ける
STEP2 設置・接続する
STEP3 パソコン（Windows®）に接続する
STEP3 Macintosh® に接続する

本製品は、有線 LAN 用、無線 LAN 用の 2 つの MAC アドレス（イーサネットアドレス）を持っています。無線 LAN 接続用の MAC アドレスを調べるときは、本製品のネットワークインターフェースを【無線 LAN】に切り替えてから、「LAN 設定内容リスト」を印刷してください。
⇒画面で見るマニュアル「ネットワークの設定」－「有線／無線切替え」

1 お使いの無線 LAN アクセスポイントの設定を書き留める

以下に記入してください。

アドホックモードの場合は、接続する Macintosh® 上で設定を行い、その設定内容を書き留めてください。また、接続先の Macintosh® の設定もアドホックモードに設定する必要があります。

アドホックモードの設定については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

SSID（必須）*1	
WEP キー *2、3	
WPA-PSK *3 (TKIP ／ AES) WPA2-PSK (AES)	

*1 SSID の隠ぺい機能を有効にしている場合は、一時的に無効にしてご確認ください。

*2 WEP キーは、次の規定に従い、64bit または 128bit キーに対応する値を ASCII 文字か 16 進数フォーマットで記入します。

- 64(40)bit　ASCII 文字：半角 5 文字で入力します。
  例）"Hello"（大文字と小文字は区別されます）
- 64(40)bit　16 進数：10 桁の 16 進数で半角入力します。
  例）"71f2234aba"
- 128(104)bit　ASCII 文字：半角 13 文字で入力します。
  例）"Wirelesscomms"（大文字と小文字は区別されます）
- 128(104)bit　16 進数：26 桁の 16 進数で半角入力します。
  例）"71f2234ab56cd709e5412aa3ba"

*3 設定されていない場合は、記入する必要はありません。

SSID、WEP キー、WPA-PSK/WPA2-PSK について
⇒ 41 ページ「無線 LAN に関する用語」

2 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

3 無線接続ウィザードを起動する

(1) メニュー を押し、▲▼ で【LAN】を選び、OK を押す

(2) ▲▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押す

(3) ▲▼ で【無線接続ウィザード】を選び、OK を押す

無線 LAN の設定ウィザードが起動します。
本製品から接続できる無線ネットワークが検索されます。

注意

■ 【無線に切替えますか？】というメッセージが表示されたときは、OK を押してウィザードを続行してください。

4 ▲▼ で本製品と接続する無線LANアクセスポイントを選び、OK を押す

手順 1 で書き留めた SSID を選びます。

注意

■ SSID が表示されない場合は、無線 LAN アクセスポイントの「SSID の隠ぺい機能」を無効にして、再度設定し直してください。

5 認証方法と暗号化方式を設定する

認証方法と暗号化方式について
⇒ 41 ページ「無線 LAN に関する用語」

> アドホックモードの場合は、下記の A) または B) のどちらかを選びます。共有キー認証（C と D）の選択肢は表示されません。

A) オープンシステム認証で暗号化なしの場合

(1) ▲▼ で【オープンシステム認証】を選び、OK を押す

※ アドホックモードの場合は、この操作は必要ありません。

(2) ▲▼ で【なし】を選び、OK を押す

◆【設定を適用しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

(3) 1 を押す

B) オープンシステム認証で暗号化方式が WEP の場合

(1) ▲▼ で【オープンシステム認証】を選び、OK を押す

※ アドホックモードの場合は、この操作は必要ありません。

(2) ▲▼ で【WEP】を選び、OK を押す

(3) ▲▼ で使用する WEP キーを選び、OK を押す

(4) 手順 1 で書き留めた WEP キーを入力し、OK を押す

⇒ユーザーズガイド付録「文字の入れ方」

◆【設定を適用しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

(5) 1 を押す

C) 共有キー認証で暗号化方式が WEP の場合

(1) ▲▼ で【共有キー認証】を選び、OK を押す

(2) で使用する WEP キーを選び、OK を押す

(3) 手順 1 で書き留めた WEP キーを入力し、OK を押す

⇒ユーザーズガイド付録「文字の入れ方」

◆【設定を適用しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

(4) 1 を押す

D) 共有キー認証（WPA/WPA2-PSK）で暗号化方式が TKIP または AES の場合

(1) ▲▼ で【WPA/WPA2-PSK】を選び、OK を押す

(2) ▲▼ で【TKIP】または【AES】を選び、OK を押す

(3) 手順 1 で書き留めた WPA/WPA2-PSK（TKIP/AES）キーを入力し、OK を押す

⇒ユーザーズガイド付録「文字の入れ方」

◆【設定を適用しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

(4) 1 を押す

6 正常に接続できたか確認する

液晶ディスプレイに【接続しました】と表示されます。

> 接続できなかった場合は、手順 3 ～ 5 をもう一度お試しください。

7 本製品の電源コードをコンセントから外し、もう一度差し込む

無線 LAN アクセスポイントから、自動的に本製品に IP アドレスが割り当てられます。

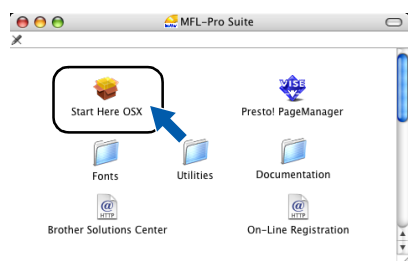
無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、ドライバとソフトウェアのインストールを行ってください。

> お使いの無線 LAN アクセスポイントが DHCP を使用していない場合は、手動で設定を行う必要があります。
> ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」

1 Macintosh® の電源が入っているか確認する

2 付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットする

3 「Start Here OS X」をダブルクリックする

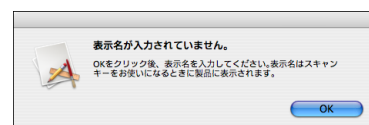
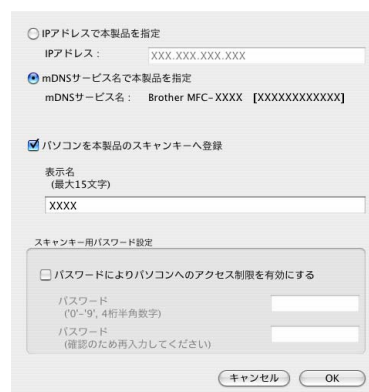
画面の指示に従って、インストールを進めてください。

4 「無線 LAN 接続」を選び、[次へ] をクリックする

5 「確認しました」をチェックして、[次へ] をクリックする

インストールが終わると、Macintosh® の再起動を促す画面が表示されます。画面の指示に従って Macintosh® を再起動してください。再起動が終わるまで、しばらくお待ちください。

再起動後、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。

ネットワーク上に複数の複合機がある場合は、以下の画面が表示されます。本製品を選んで、[OK] をクリックしてください。

以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックして、表示名を入力してください。

表示名は、15 文字以内で入力します。

※スキャンキー用パスワードについて詳しくは、画面で見るマニュアルをご覧ください。

6 以下の画面が表示されたら、[OK] をクリックする

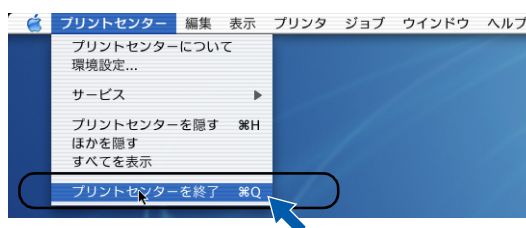
- Mac OS® X 10.3.x 以降をご利用の場合
  ドライバのインストールが終了しました。続けて、Presto!® PageManager® をインストールする場合は、手順 11 に進みます。
- Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.2.8 をご利用の場合
  手順 7 に進みます。

7 [追加] をクリックする

8 下の画面のとおり選択する

9 本製品を選び、[追加] をクリックする

10 「プリントセンター」メニューから「プリントセンターを終了」を選ぶ

Mac OS 10.2.x の場合は、「プリントセンター」メニューから「プリントセンターを終了」を選びます。

ドライバのインストールが終了しました。
続けて、Presto!® PageManager® をインストールする場合は、手順 11 へ進みます。

11 「Presto!® PageManager®」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.3.8 をご利用の場合
以下の画面が表示されたら、[Go] をクリックしてサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からソフトウェアをダウンロードしてください。

オンラインユーザー登録のご案内

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。
https://regist.brother.jp/

「BRAdmin Light」を使用する

BRAdmin Light は、ネットワークプリンタなど、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。BRAdmin Light は、ドライバをインストールすると、自動的にインストールされます。

本製品の IP アドレスは、ネットワーク上の DHCP サーバーによって自動で設定されるのが通常ですが、自動で設定されない場合は、以下の手順に従って BRAdmin Light で設定してください。

詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」

1. **デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］-［Printers］-［Brother］-［Utilities］-［BRAdmin Light.jar］を選ぶ**

   BRAdmin Light が起動し、自動的に新しいデバイスを検索します。

2. **本製品をダブルクリックする**

3. **［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力し、［OK］をクリックする**

   IP アドレスなどの情報が、本機に保存されます。

ネットワークの設定内容リストを印刷する

使用するネットワークインターフェースを切り替えてから、LAN 設定内容リストを印刷してください。お買い上げ時は【有線 LAN】に設定されています。⇒画面で見るマニュアル「ネットワークの設定」－「有線／無線切替え」

1. **メニュー を押し、▲▼ で【レポート印刷】を選び、OK を押す**

2. **▲▼ で【LAN 設定内容リスト】を選び、OK を押す**

3. **モノクロ または カラー を押す**

この続きは…

ここまでの操作で、本製品を使用するための準備が終了しました。本製品をお使いいただくときは、目的に合わせて必要なユーザーズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。

「ユーザーズガイド」（冊子）

● ご使用の前に
● ファクス
● リモコン・転送機能
● コピー
● フォトメディアキャプチャ
● こんなときは

画面で見るマニュアル（HTML 形式）

● プリンタ
● スキャナ
● PC-FAX
● フォトメディアキャプチャ
● リモートセットアップ
● ControlCenter

「画面で見るマニュアル」を閲覧するには

CD-ROM に収録されている「画面で見るマニュアル」を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows® の場合

(1) **付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

モデルを選択する画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

◆ メイン画面が表示されます。

(2) **「画面で見るマニュアル」をクリックする**

(3) **「画面で見るマニュアル　HTML 形式」をクリックする**

◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。

パソコンにドライバをインストールすると、Windows® のスタートメニューから画面で見るマニュアルを閲覧できます。
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-480CN］－［画面で見るマニュアル（HTML 形式）］を選んでください。

Macintosh® の場合

(1) **付属の CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブにセットする**

(2) **「Documentation」をダブルクリックする**

(3) **「mfc-480cn_jpntop.html」をダブルクリックする**

◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）は、ブラザーの純正消耗品の新シリーズです。イノベラの名前は、イノベーション（innovation.「革新的」）とベラ（Bella・イタリア語で「美しい」）の２つの言葉に由来しています。　革新的なプリント技術により美しく鮮やかな高品質のプリントを実現します。写真の印刷には「イノベラ写真光沢紙」をおすすめいたします。イノベラインクと合わせてお使い頂ければ、鮮やかでキメの細かい発色、つややかな仕上がりの超高画質の写真プリントを実現します。また、安定した印刷品質の維持のためにも、イノベラインク・イノベラ写真光沢紙、およびブラザー純正の専用紙のご使用をお勧めいたします。

消耗品

インクカートリッジ

インクが残り少なくなったら、以下のインクカートリッジをお買い求めください。

種類	型番	印字可能枚数
ブラック（黒）	LC10BK	約 500 枚
イエロー（黄）	LC10Y	約 400 枚
シアン（青）	LC10C	約 400 枚
マゼンタ（赤）	LC10M	約 400 枚
4 個パック ［ブラック（黒）/ マゼンタ（赤）/ イエロー（黄）/ シアン（青）各 1 個］	LC10-4PK	ブラック（黒）：約 500 枚 マゼンタ（赤）/ イエロー（黄）/ シアン（青） ：各色約 400 枚
黒 2 個パック ［ブラック（黒）2 個］	LC10BK-2PK	約 500 枚× 2

印字可能枚数は、以下の条件を想定したものです。
- 新しいインクカートリッジを取り付けてから、液晶ディスプレイに【インク切れ】と表示されるまでの期間
- 5%印刷密度、600 × 600dpi の標準モードで印刷を続ける

本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2 回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印字可能枚数が少なくなります。

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP61GLA（A4）、BP61GLLJ（L 判）	20 枚入り
		BP61GLLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP61GLLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP61GLLJ300（L 判）	300 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

また、OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。
- Transparency 3M Transparency Film（型番：CG3410）

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

<table>
<tr>
<td>

● 【お客様相談窓口（ブラザーコールセンター)】

MFC 製品のご質問と障害に関するご相談

TEL：0120-590-381

電話番号はおかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間：月～金　9：00 ～ 20：00
土・祝日　9：00 ～ 17：00

日曜日および当社 (ブラザー販売 (株)) 休日は休みとさせていただきます。

お客様相談窓口の情報は下記のサポートサイトにてご確認ください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター)：
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録：
https://regist.brother.jp/

</td>
<td>

● 消耗品ご注文窓口

ブラザー販売（株）情報機器事業部　ダイレクトクラブ

〒 467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町 15-1

TEL：0120-118-825

（土・日・祝日、長期休暇を除く
9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00）

FAX：052-825-0311

ホームページ：http://direct.brother.co.jp

- 純正消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
- 万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。

</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">

〒 467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1
ブラザー工業株式会社

</td>
</tr>
</table>

※ ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-590-381（フリーダイヤル)」にご連絡ください。

※ Presto!®PageManager® については、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
TEL : 03-5472-7008　FAX : 03-5472-7009　10：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：nj.nsc@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中では Windows® 2000 と表記しています。)
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows Vista™ の正式名称は、Microsoft® Windows Vista™ operating system です。
Microsoft 、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple 、Macintosh は、Apple Inc. の商標です。
Adobe、Photoshop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Presto! PageManager は、NewSoft Technology Corp. の登録商標です。
FaceFilter Studio は、Reallusion™ Inc. の登録商標です。
Pentium、Xeon は、Intel Corporation の登録商標です。
AMD Athlon 64、AMD Opteron は、Advanced Micro Devices,Inc. の登録商標です。
PictBridge は、CIPA（Camera ＆ Imaging Products Association）の商標です。
「デジカメ」は三洋電機株式会社の登録商標です。
AOSS は、株式会社バッファローの商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。